

年 報

第20号

平成27年度

千葉県立関宿城博物館

目 次

| | | | |
|-----------------------|----|-----------------------------------------|----|
| I 沿革 | 1 | [7] 開館20周年記念 展覧会「チラシで見 る企画展・特別展のあゆみ」 | 19 |
| II 施設・用地 | | [8] パネル展『船鑑』に描かれた和船 | 20 |
| 1 施設の概要 | 7 | [9] コーナー展「醤油ラベルの大集合」 | 20 |
| 2 設備の概要 | 7 | [10] 「関宿藩すごろクイズ」 | 20 |
| 3 工事関係者 | 7 | 2 教育普及活動 | |
| 4 監理 | 8 | [1] 講座 | |
| 5 視聴覚機器 | 8 | (1) 歴史講座 | |
| 6 その他備品 | 8 | ① 海路から広がったやきもの | 21 |
| 7 博物館敷地 | 8 | ② 古文書を読む | 21 |
| 8 施設面積 | 9 | (2) 博物館セミナー | 21 |
| 9 日本庭園内樹木等 | 9 | (3) 野外講座 | |
| 10 道路案内板設置場所 | 10 | ① 歴史散歩 | 23 |
| | | (4) 郷土食講座 | |
| III 組織と運営 | | ① そば打ち | 23 |
| 1 組織・職員 | | ② 小麦まんじゅうづくり | 24 |
| (1) 組織 | 11 | ③ 投網漁と川魚料理 | 24 |
| (2) 職員 | 11 | ④ こんにゃくづくり | 24 |
| (3) 展示協力員 | 11 | ⑤ 鷹菜漬け | 25 |
| 2 入館者の統計 | | [2] 体験教室—みんなでふれあい体験— | |
| (1) 平成27年度入館者数及び累計 | 11 | (1) 河川敷のいきものさがし（1日コー ス） | 25 |
| (2) 平成27年度利用状況 | 12 | (2) 河川敷のいきものさがし（半日コー ス） | 25 |
| (3) 展覧会別入館状況 | 14 | (3) 飛ばせ水ロケット | 26 |
| (4) 入館者の状況 | 15 | (4) 関宿城下を歩こう（1日コース） | 26 |
| 3 ミュージアムショップの状況 | 15 | (5) 関宿城下を歩こう（半日コース） | 26 |
| IV 平成27年度の事業概要 | | (6) 版画年賀状教室 | 27 |
| 1 展示活動 | | (7) 兜をかぶってハイ、ポーズ | 27 |
| [1] 常設展「河川とそれにかかわる産業」 | | (8) 県民の日 せきはくパック | 27 |
| (1) 房総の河川 | | (9) お城クイズにチャレンジしよう | 27 |
| ～近現代の利根川・江戸川～ | 16 | (10) ワークショップ やきものの世界を知 ろう—蹴ロクロ実演— | 27 |
| (2) 房総の河川 | | (11) ワークショップ やきものの世界を知 ろう—模様つけ体験— | 28 |
| ～近世の利根川・江戸川～ | 16 | (12) ワークショップ やきもの屋 | 28 |
| (3) 河川交通と伝統産業 | 16 | (13) オリジナルラベルを作ろう | 28 |
| [2] 常設展「関宿藩と関宿」 | 16 | (14) ぬりえチラシ | 28 |
| [3] 開館20周年記念 | | [3] スケッチ展 | |
| 企画展「海路から広がったやきもの | | (1) スケッチ展 | |
| —近世以降の関東— | 16 | ① 本橋尚徳スケッチ小品展 | |
| [4] 「くずし字に親しもう」 | 18 | 「関宿城風景」 | 28 |
| [5] 2015年国際博物館の日記念事業 | | | |
| 「昔のくらし展」 | 19 | | |
| [6] パネル展「日本の城郭と天守」 | 19 | | |

| | | |
|------|------------------|----|
| [4] | イベント | |
| (1) | 第17回関宿城将棋大会 | |
| ① | 大人の部 | 29 |
| ② | 子どもの部 | 29 |
| (2) | 関宿城で初日の出を見よう | 29 |
| (3) | 第20回関宿城まつり | |
| | 第8回関宿城さくらまつり | 30 |
| [5] | 刊行物 | 30 |
| [6] | 情報提供 | |
| (1) | 新聞での情報 | 30 |
| (2) | テレビでの報道 | 31 |
| (3) | ラジオでの報道 | 31 |
| (4) | ホームページ等による広報 | 31 |
| [7] | 平成27年度の博物館実習について | 31 |
| [8] | 学校との連携 | |
| (1) | 団体見学の対応 | 32 |
| (2) | インターンシップ | 32 |
| (3) | 職場体験学習 | 32 |
| (4) | 出前授業 | 32 |
| (5) | 研修会 | 32 |
| [9] | 社会教育機関等との連携 | |
| (1) | 団体見学の対応 | 32 |
| (2) | 出前講座 | 32 |
| (3) | 講演会 | 32 |
| [10] | ボランティア活動状況 | 32 |
| 3 | 資料の収蔵・整備 | 33 |
| 4 | 調査研究 | 33 |
| 5 | 平成27年度の資料活用 | 33 |

V 資料

| | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 条例・規則 | 35 |
| 2 | 平成27年度の主な事業と来館者 | 38 |

I 沿 革

| 年 月 | 内 容 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和 55年 9月 | 戸辺県議が関宿町に城型「治水記念館」を建設することについて9月議会で質問。 〔回答〕 史実に基づいたものを建設する必要があるので調査を十分したい。 |
| 57年 3月 | 関宿町が「関宿城建設整備計画」を策定。 |
| 58年 8月 | 関宿町長・町議会議長・町教育長から城の復原・郷土資料館等について陳情書が提出される。 東葛市町広域行政連絡協議会から、関宿城復原に係る建設省用地の払い下げ及び関宿治水公園の設置について陳情が提出される。 |
| 60年 2月 | 館野県議が、文化施設としての関宿城の復原と郷土資料館について2月県議会で質問。 〔回答〕 可能な限り史実に基づいた事業を進めたいので、その方向で調査をしたい。 |
| 4月 | 博物館の関連調査費として、当初予算に100万円を計上。（関宿城歴史資料調査60～61年度） |
| 61年 4月 | 「ふるさと千葉5か年計画」の中に、県立博物館として盛り込まれる。 |
| 11月 | （財）県文化財センター委託の旧関宿城跡（本丸跡）の調査開始（3か年計画） |
| 63年 7月 | ・第1回設置準備委員会 委員会発足 |
| 9月 | ・第2回設置準備委員会 |
| 12月 | ・第1回展示設計競技審査会で参加業者5者決定 |
| 平成 元年 1月 | ・第2回展示設計競技審査会（コンペ）で投票の結果、（株）日展が入選 |
| 2月 | ・第3回設置準備委員会 |
| 3月 | ・（株）日展から「展示基本計画書」等が提出される。 |
| 5月 | ・第1回設置準備委員会 |
| 7月 | ・総務部文書課、教育庁文化課・庶務課が、自治省と県境問題について協議 |
| 8月 | ・自治省から回答、地方自治法第244条の3号第3項に規定する「関係普通地方公共団体の決議」の必要はない。 |
| 12月 | ・建設省、土木部河川海岸課・用地課、教育庁文化課、関宿町でスーパー堤防施行等について協議（於自治会館） |
| 平成 2年 4月 | ・進入道路入口に「県立博物館建設予定地入口」の看板設置 |
| 6月 | ・第1回歴史資料所在調査会発足 ・第1回設置準備委員会 |
| 7月 | ・スーパー堤防盛土開始（工期H2.6.5～H3.3.31） 2年度18千㎡ 3年度190千㎡を盛土 ・第1回円説設計者選定委員会（於青雲閣） 業務要領の制定、技術提案（プロポーザル）参加業者5者を選定 |
| 8月 | ・スーパー堤防に係る協定書の4者協議 （土木部用地課・河川海岸課・教育庁文化課、関宿町） ・第2回建築設計者選定委員会（於県職員開館） 建築設計者、（株）アルコムを選出 |
| 平成 3年 4月 | ・「さわやかハートちば5か年計画」スタート |
| 7月 | ・地質調査を（株）中央開発、測量を富士技術サービス（株）と契約 |
| 8月 | ・第1回設置準備委員会 |

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 3年 1 1月 | ・ (株) アルコムと建築基本設計を契約 |
| 平成 4年 3月 | ・ スーパー堤防協定書が締結される。 (建設省、千葉県、県教育委員会、関宿町の4者) 建築基本設計策定 |
| 6月 | ・ 建築工事等指名業者選定審査会(教育部会) 建築実施設計委託業者(株) アルコムの承認 ・ 第1回関宿藩資料調査会議(於県職員開館) ・ 上水道協議 関宿町水道事務所 |
| 8月 | ・ (株) アルコムから実施設計辞退届が提出される。 |
| 9月 | ・ 建築工事等指名業者選定審査会教育部会で、入札参加業者8者を承認 ・ (株) 構造計画研究所と建築実施設計の契約を締結 |
| 1 1月 | ・ 第1回設置準備委員会 |
| 平成 5年 1月 | ・ 建築工事等指名業者選定審査会教育部会で、地盤改良工事入札参加業者12者を選定 ・ 地盤改良工事監理委託に都市公社を承認 |
| 2月 | ・ 地盤改良工事を若築建設(株)と契約 |
| 3月 | ・ 第2回設置準備委員会 ・ 建築実施設計完了(パース図、模型等納品) ・ 県警察本部警務課と茨城県地積をまたぐ件について協議 ・ 地盤改良工事の住民説明、建設相協議(於関宿町) |
| 4月 | ・ 建築工事等指名業者選定審査会教育部会で、(株) 日展と展示実施計画の随意契約が了承される。 ・ (株) 日展と展示実施計画委託契約 |
| 6月 | ・ 第1回設置準備委員会 ・ 柏土地改良事務所と排水関係について協議 |
| 8月 | ・ 地盤改良工事竣工 |
| 9月 | ・ 杭打工事を東洋パイルヒューム管製作所と契約 ・ 建築工事を(株) 大林組と契約 |
| 1 0月 | ・ 文教常任委員会で建設工事議案を可決 ・ 9月議会本会議で建設工事議案を承認可決(本契約は9月6日に遡って) ・ 建設工事着工 ・ 電気設備・機械設備工事を明電設備(株)、富士電気総設(株)と契約 |
| 1 1月 | ・ 建設省から占用許可おりる(H5.11.25~H9.9.30)。河川区域4,894.45㎡ |
| 平成 6年 2月 | ・ 第2回設置準備委員会 |
| 3月 | ・ 展示実施設計策定 |
| 5月 | ・ 定例教育委員会議で博物館の敷地が承認される。 ・ 建築工事等指名業者選定審査会教育部会で展示工事を(株) 日展と随意契約することを承認 |
| 6月 | ・ 展示工事を(株) 日展と契約 |
| 7月 | ・ 建築外構工事を大林組(株)と随意契約 |
| 8月 | ・ 土木外構工事を野口興業(株)と契約 |
| 1 0月 | ・ 造園工事を石川造園土木(株)を契約 |
| 平成 6年 1 1月 | ・ 第1回設置準備委員会 |

| | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 7年 2月 | ・植栽その1・2・3工事を(株)東松園、(株)幹樹園、新都市緑化(株)と契約 ・建設・電気設備・機械設備工事竣工 |
| 3月 | ・第2回設置準備委員会 ・建物引渡し、博物館準備室を関宿城内に異動 ・土木外構(庭園造成、駐車場)・植栽その3工事竣工 |
| 4月 | ・建築外構工事竣工 |
| 7月 | ・朝日バス、関宿城博物館までの定期路線開通(14日) |
| 8月 | ・植栽その1・2工事竣工 |
| 9月 | ・展示工事竣工 |
| 11月 | ・「千葉県立関宿城博物館」機関設置(1日) ・内覧会 55人参加(3日) ・ライトアップ工事完了(7日) ・開館記念式典(10日) ・一般公開(11日) |

開 館 以 降

| | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 7年 12月 | 12月9日 入館者累計が5万人を超える。 |
| 平成 8年 2月 | 2月12日 入館者累計が10万人を超える。 |
| 8月 | 特 別 展「利根川ハイウェー～利根川水運の盛衰を探る～」 7月27日から9月1日まで 入館者数：22,192人 特別講演会「海や川について考える」 8月8日 講師：椎名誠 入場者数：970人 会場：野田市文化会館 |
| 10月 | 合同企画展「東京湾・海苔の文化誌～ノリを喰らう～」 10月19日から11月17日まで 入館者数：17,972人 |
| 平成 9年 1月 | 企 画 展「描かれた世喜宿城～城絵図の世界～」 1月11日から2月23日まで 入館者数：20,898人 |
| 4月 | 休憩施設設計予算化 |
| 8月 | 特 別 展「忘れまい大洪水～カスリーン台風回顧展～」 8月12日から9月23日まで 入館者数：20,368人 特別講演会「台風がやってくる」 8月31日 講師：森田正光 入場者数：623人 会場：松戸市市民会館 |
| 9月 | 合同企画展「水をもとめて」 9月30日から11月17日まで 入館者数：27,171人 |
| 12月 | 休憩施設基本実施設計委託契約を(株)構造計画研究所と締結 |
| 平成10年 1月 | 企 画 展「かねは天下のまわりもの～江戸時代の貨幣制度を探る～」 1月15日から3月1日まで 入館者数：11,772人 |
| 3月 | 休憩所基本実施設計完成 |
| 4月 | 4月19日 入館者累計が50万人を超える。 |
| 8月 | 企 画 展①「利根川水運と諸大名」 8月4日から9月27日まで 入館者数：21,437人 |

| | |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成10年 9月 | 特別講演会「利根川図志紀行～日本一の大河坂東太郎の歴史と文化を探る～」 9月13日 講師：山本鉦太郎 入場者数：503人 会場：流山市文化会館 |
| 10月 | 合同企画展「利根川紀行」 10月6日から11月15日まで 入館者数：28,832人 休憩所増設工事着工（29日） |
| 平成11年 1月 | 企画展②「大地からの叫び～関宿周辺の原始・古代を探る～」 1月26日から2月28日まで 入館者数：10,566人 |
| 5月 | 休憩所増設工事（6日） |
| 8月 | 企画展「絵馬に託す～利根川中流域の絵馬から～」 8月10日から9月15日まで 入館者数：12,125人 |
| 平成12年 2月 | 合同企画展「常総を旅する人々」 2月22日から3月26日まで 入館者数：9,542人 |
| 3月 | 休憩所外構工事竣工（24日） |
| 8月 | 企画展「利根川改修100年」 8月12日から10月1日まで 入館者数：17,260人 |
| 9月 | 特別講演会「日本人と川」 9月15日 講師：井沢元彦 入場者数：323人 会場：さわやかちば県民プラザ |
| 10月 | 第3回最新出土考古資料巡回展「地中からのメッセージ」 10月7日から11月5日まで 入館者数：27,743人 |
| 11月 | 開館5周年記念展「再発見！関宿の歴史」 11月10日から1月28日まで 入館者数：16,517人 |
| 平成13年 3月 | 千葉県用地1,281.38㎡所管換により取得（19日） 総敷地面積11,134.81㎡となる サイクリングロード、簡易トイレ周辺整備工事竣工 （東葛飾土木事務所発注工事） |
| 7月 | 巡回展県内遺跡報告展「房総発掘物語」 7月10日から8月19日まで 入館者数：12,615人 |
| 9月 | 企画展「戦国の争乱と関宿」 9月1日から9月30日まで 入館者数：11,116人 |
| 平成14年 1月 | 1月26日 入館者累計100万人を超える。 特別講演会「森と川を語る」 1月27日 講師：C. W. ニコル 入場者数：453人 会場：さわやかちば県民プラザ |
| 3月 | 浚渫船（山王号）と水路浚渫機設置 （国土交通省発注工事） |
| 8月 | 企画展「江戸川流域360年～水運・帝都防衛・ベッドタウン～」 8月1日から9月29日まで 入館者数：18,200人 特別講演会「北海道で考える」 8月25日 講師：倉本聡 入場者数：900人 会場：野田市文化会館 |
| 平成15年 1月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 1月5日から2月2日まで 入館者数：9,098人 |
| 7月 | 合同企画展「英雄・怨霊 平将門～史実と伝説の系譜～」 7月15日から8月17日まで 入館者数：16,235人 |

| | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成15年 9月 | 野田市・関宿町合併記念「日本刀展」 9月30日から11月3日まで 入館者数：48,034人 |
| 11月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 11月8日から12月7日まで 入館者数：8,833人 |
| 平成16年 1月 | 野田市・関宿町合併記念「後藤純男展」 1月4日から1月18日まで 入館者数：12,605人 |
| 3月 | 特別講演会「川を学ぼう」 3月13日 講師：立松和平 入場者数：318人 会場：野田市文化会館 |
| 8月 | 企画展「幕末の眼科医 高野敬仲」 8月10日から9月12日まで 入館者数：13,299人 |
| 11月 | 県立美術館・博物館合同企画展「竹～ながーいともだち～」 11月30日から12月25日まで 入館者数：8,624人 |
| 平成17年 3月 | 特別講演会「川と海を考える」 3月13日 講師：マイク真木 入場者数：27人 会場：松戸市民会館 |
| 5月 | 5月22日 入館者累計が150万人を超える。 |
| 8月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 8月4日から8月31日まで 入館者数：10,482人 |
| 10月 | 企画展「高瀬船物語」 10月1日から12月4日まで 入館者数：32,488人 |
| 平成18年10月 | 企画展「利根川東遷と関宿藩」 10月3日から11月19日まで 入館者数：33,297人 |
| 11月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 11月25日から12月24日まで 入館者数：7,297人 |
| 平成19年 7月 | 合同企画展「街並み」 7月3日から7月29日まで 入館者数：9,055人 |
| 9月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 9月6日から9月30日まで 入館者数：7,531人 |
| 10月 | 企画展「天狗への祈り～大杉神社と利根川水運～」 10月18日から12月2日まで 入館者数：33,075人 |
| 平成20年 1月 | 巡回展「武の鉄一鉄に秘められた武の遺伝子ー」 1月10日から2月11日まで 入館者数：7,199人 |
| 9月 | 千葉県の指定文化財展「房総の仏像・仏画」 9月20日から10月19日まで 入館者数：19,042人 会場：県立中央博物館 講演会「房総の日蓮ーその文化遺産をめぐってー」 9月27日 講師：立正大学名誉教授・中尾堯 入場者数：140人 会場：県立中央博物館 |
| 10月 | 企画展「自然災害をのり越えてー利根川中流域の土木遺産から見える歴史ー」 10月21日から11月30日まで 入館者数：25,747人 |
| 12月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりーおゆみ野編ー」 12月4日から1月4日まで 入館者数：6,764人 |
| 平成21年 1月 | 1月10日 入館者累計が200万人を超える。 |
| 2月 | 2月2日 皇太子殿下が行啓なされる。 |
| 10月 | 企画展「舟から船へー原始から近世までの日本船の変遷を探るー」 10月6日から11月29日まで 入館者数：29,512人 |

| | |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 公 演「関宿城薪能一ふれあい薪能一」 10月12日 入場者数：800人 |
| 12月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりー地下50cm文字の世界ー」 12月5日から1月3日まで 入館者数：4,505人 |
| 平成22年 1月 | 公 演「燃え尽きるまでー幕末の治水家・船橋随庵ー」 1月9日と1月10日 入場者数：850人 会場：野田市櫓のホール |
| 4月 | 「火縄銃」展 4月27日から5月30日まで 入館者数：18,247人 |
| 10月 | 企 画 展「利根運河通水120年記念合同企画事業ー利根川舟運と利根運河ー」 10月5日から11月28日まで 入館者数：29,266人 利根運河通水120年記念合同企画事業記念講演会 「オランダ人お雇い技術者と利根運河」 10月16日 講師：高崎哲郎 入場者数：145人 会場：野田市興風会館 |
| 平成23年 2月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりー北から 西から 海路からー」 12月11日から1月16日まで 入館者数：9,599人 |
| 3月 | 菜の花フェスタ in 関宿城博 展 示 会「さかなクン教えて！川の魚、海の魚」 3月12日から5月8日まで 入館者数：19,971人 3月11日の東日本大震災により、臨時休館や開閉時間の調整を行う。平常開館は3月26日以降。 |
| 8月 | 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりー古墳に眠る石枕ー」 8月20日から9月19日まで 入館者数：9,720人 |
| 10月 | 企 画 展「猿島茶と水運ー江戸後期から明治期を中心にー」 10月4日から11月27日まで 入館者数：26,591人 |
| 平成24年10月 | 企 画 展「醤油を運んだ川の道ー利根川・江戸川舟運盛衰ー」 10月2日から11月25日まで 入館者数：19,253人 |
| 11月 | 出土遺物巡回展「時空を超えてー市原市ちはら台の発掘ものがたりー」 11月29日から1月6日まで 入館者数：7,201人 |
| 平成25年 4月 | 4月20日 入館者累計が250万人を超える。 |
| 8月 | 第37回千葉県移動美術館「千葉県立美術館名品展」 8月3日から8月18日まで 入場者数：1,976人 |
| 10月 | 企 画 展「川が結ぶー東北地方と江戸を結んだ利根川水運」 10月8日から12月1日まで 入館者数：13,298人 |
| 11月 | 太鼓橋高欄改修工事着工（6日） |
| 平成26年 3月 | 太鼓橋高欄改修工事竣工（17日） |
| 10月 | 地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山 ー海運へのターニングポイントー」 10月7日から11月30日まで 入館者数：13,940人 |
| 平成27年10月 | 開館20周年記念 企画展「海路から広がったやきものー近世以降の関東ー」 10月6日から11月29日まで 入館者数：13,665人 |

Ⅱ 施設・用地

1 施設の概要

(1) 施設概要

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建物名称 | 千葉県立関宿城博物館 |
| 所在地 | 千葉県野田市関宿三軒家 143-4 |
| 地域地区 | 高規格堤防(スーパー堤防上) |
| 用途 | 博物館 |
| 敷地面積 | 11,134.81 m ² |
| 建築面積 | 1,932.20 m ² |
| 延床面積 | 2,172.31 m ² (休憩所・屋外便所含) |
| 建物高さ | 最高高さ 23m |
| 建築規模 | 平屋建て一部天守閣造り(3層4階江戸城富士見櫓風) |
| 構造 | SRC鉄筋コンクリート造4階建 |
| 屋根 | 天守閣4階、本館(入母屋屋根) 天守閣2・3階(4方吹降屋根) |
| 外装 | 大壁造形式(モルタル下地油漆喰塗り) |
| 展示室 | 平屋 [床]カーペットタイル [壁]ビニールクロス貼 [天井]岩綿化粧吸音板 天守閣 [床]直張フローリング [壁]断熱パネル下地プラスター塗り [天井]調湿性岩綿吸音板格(ゴウ)天井 |
| 建物名称 | 千葉県立関宿城博物館休憩所 |
| 所在地 | 千葉県野田市関宿三軒家 143-1 |
| 用途 | 博物館の休憩施設 |
| 建築面積 | 171.65 m ² |
| 延床面積 | 135.21 m ² |
| 構造 | 木造 平家建て |

2 設備の概要

(1) 電気設備

① 受変電設備

受変電 6KV 変圧器 100KVA×1台
150KVA×1台

設備容量 165KW

② その他の設備

中央監視装置、放送設備 一般・非常放送用兼
用
出力 120W、インターホン/夜間受付用

エレベータ用

TV 共聴設備 VHS・UHS・BS

電話設備 ボタン電話式

局線 3/24 回線 内線 21/40 回線

避雷設備 受雷部一棟上げ導体避雷導線一建築
構造体利用 接地極一接地極 埋設

監視制御 CCDカメラ 18台

(2) 空気調和設備

① 冷暖房設備 冷温水発生装置 2基

② 換気設備 全熱交換機、排気ファン、天井扇

(3) 給排水衛生設備

① 水源

野田市水道、給水設備 加圧給水ポンプによる
圧力方式

② 受水槽容量

24 m³、給湯設備 貯湯式電気温水器 150ℓ

③ 排水設備

雑排水・汚水排水 浄化槽合併処理後野田市
排水本管に放流、浄化槽 160人槽 接触ばっき
方式

④ 消火設備

屋内消火設備 屋内消火栓 3ヶ所 消火栓ポン
プ 消火水槽 6t 防火水槽 80t 消火器 A
B C 10 型 18本、特殊消火設備 ハロゲン化
合物消火設備 68ℓ × 12本(720kg)
避難用救助袋 斜降式 袋長 30.5m 天守閣
3階 1ヶ所

(4) 昇降設備

油圧式乗用兼車椅子エレベーター
750kg 11人乗り 速度 45m/分

(5) 収蔵庫関係

① 収蔵庫・特別収蔵庫

[床] ブナフローリング

[壁] 調湿性石綿化粧吸音板

[天井] 調湿性石綿化粧吸音板

② 燻蒸設備

庫内容量 10 m³ 常圧式ガス吸着槽

3 工事関係者

(1) 設計関係

地形測量

(株) 富士技術サービス

地質調査 中央開発 (株)
 本体・周辺設備実施設計 (株) 構造計画研究所
 展示基本・実施設計 (株) 日展
 土木工事関係 (財)千葉県都市公社

4 監 理
 建築工事 県土木部営繕課
 (株) 構造計画研究所
 展示工事 (財) 日本博物館協会
 土木工事関係 (財)千葉県都市公社

(2) 施工

地盤改良工事 若築建設 (株)
 基礎杭打工事 (株) 東洋パイルヒューム管製作所
 建築工事 (株) 大林組 (H5. 10. 14~7. 2. 20)
 建築外構工事 (株) 大林組 (H6. 7. 14~7. 4. 20)
 機械設備工事 富士電気総設 (株)
 (H5. 10. 29~7. 2. 20)
 電気設備工事 明電設備 (株)
 (H5. 10. 29~7. 2. 20)
 展示工事 (株) 日展 (H6. 6. 1~7. 9. 30)
 土木外構 (株) 野口工業 (H6. 8. 12~7. 3. 25)
 造園工事 (株) 石川造園土木
 (H6. 10. 12~7. 3. 25)
 植栽その1 (株) 東松園 (H7. 2. 3~7. 8. 20)
 その2 (株) 幹樹園 (H7. 2. 3~7. 8. 20)
 その3 新都市緑化 (株) (H7. 2. 3~7. 3. 25)
 休憩所増築工事 野田建設 (株)
 (H10. 10. 29~H11. 5. 11)
 休憩所外構工事 野田建設 (株)
 (H12. 1. 19~12. 3. 24)

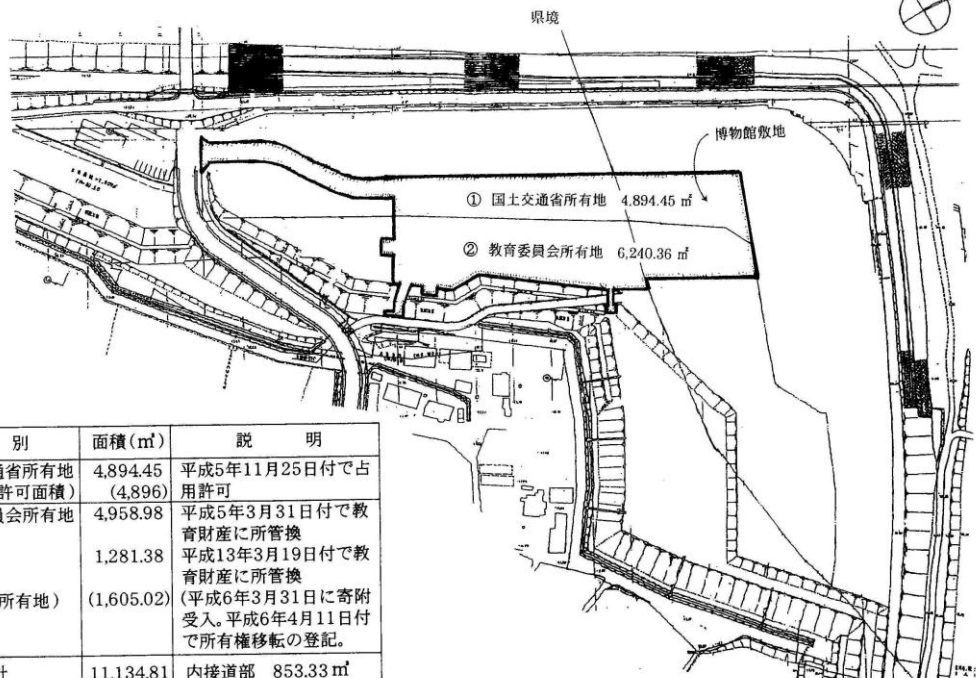
5 視聴覚機器

AV機器 マイク1本、ワイヤレスマイク2本、
 アンプ1台、チューナー1台、
 カセットデッキ1台
 拡声器1台、ビデオチェンジャー1台、スライド
 1台、OHP1台、コピー黒板1台、ビデオカメラ
 (8ミリ、SONY CCD-TR2)1台、ビデオ
 デッキ(8ミリ)1台、ビデオデッキ(VHS)1台、
 ポータブルアンプ1台、35ミリカメラ2台(N I
 K O N F 3・F-601)、67判カメラ1台(M
 A M I Y A R Z 67)、ポラロイドカメラ1台(J
 O Y C A M)、スタジオ撮影機材一式(電源2、スト
 ロボ大・中・小、撮影台、スクリーン)

6 その他備品

集会室用テーブル13台、椅子110脚、
 多目的室用テーブル9台、椅子30脚、
 司会台、演台、花台

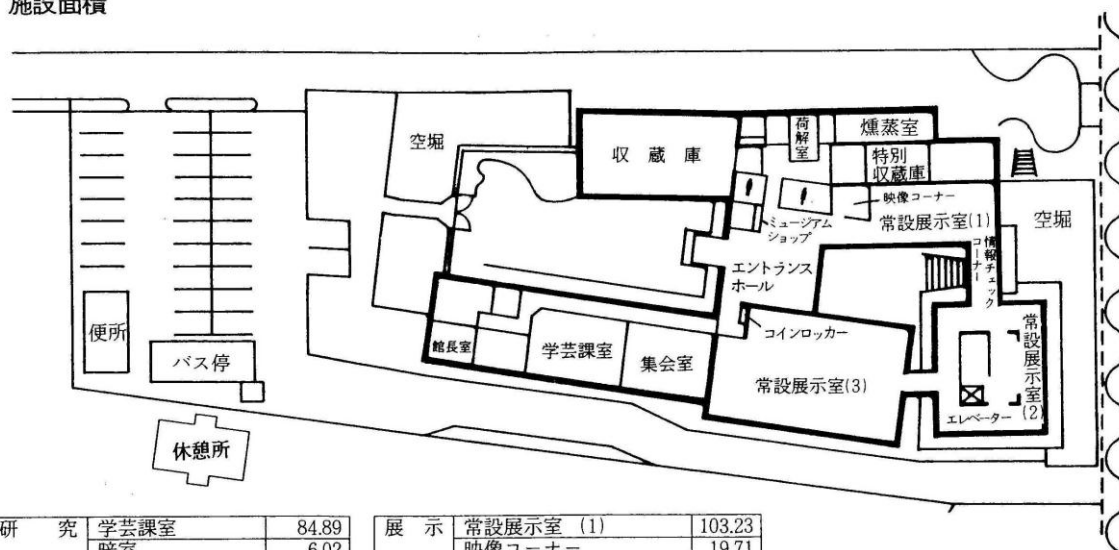
7 博物館敷地



| 種 別 | 面積(m ²) | 説 明 |
|------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①国土交通省所有地 (許可面積) | 4,894.45 (4,896) | 平成5年11月25日付で占 用許可 |
| ②教育委員会所有地 (元関宿町所有地) | 4,958.98 1,281.38 (1,605.02) | 平成5年3月31日付で教 育財産に所管換 平成13年3月19日付で教 育財産に所管換 (平成6年3月31日に寄附 受入。平成6年4月11日付 で所有権移転の登記。 |
| 計 | 11,134.81 | 内接道部 853.33 m ² |

※国土交通省所有地 千葉・茨城 端数切り上げ(H9.10.1 更新時より変更)

8 施設面積



| | | |
|------|-----------|--------|
| 研究 | 学芸課室 | 84.89 |
| | 暗室 | 6.02 |
| | 小計 | 90.91 |
| 教育普及 | 集会室 | 86.62 |
| | 集会室倉庫 | 2.69 |
| | 多目的室 | 68.15 |
| | 展望室 | 39.05 |
| | 小計 | 196.51 |
| サービス | エントランスホール | 146.21 |
| | 自販機・ロッカー | 16.67 |
| | トイレ | 36.02 |
| | 屋外便所 | 23.28 |
| | 小計 | 222.18 |
| 管理事務 | 館長室 | 25.5 |
| | 庶務課室 | 33.5 |
| | 事務倉庫 | 10.9 |
| | 職員用便所 | 11.76 |
| | 小計 | 81.66 |

| | | | |
|----------|------------|--------------|------|
| 展示 | 常設展示室 (1) | 103.23 | |
| | 映像コーナー | 19.71 | |
| | 常設展示室 (2) | 99.69 | |
| | 情報チェックコーナー | 31.02 | |
| | 常設展示室 (3) | 314.59 | |
| | ギャラリー | 25.76 | |
| | 企画展示室 | 120.00 | |
| | 小計 | 714.00 | |
| | 設備他 | 作業員・警備室(便所含) | 25.6 |
| | | シャワー室・脱衣室 | 2.98 |
| 空調機械室 | | 18.43 | |
| 電気室 | | 26.67 | |
| 炭酸ガスボンベ室 | | 13.85 | |
| エレベーター関係 | | 28.79 | |
| ポンプ室 | | 5.83 | |
| フロア室 | | 7.27 | |
| 休憩室 | | 12.28 | |
| その他共用部分 | | 172.43 | |
| 小計 | 314.13 | | |

| | | |
|----|------------|----------|
| 収蔵 | 収蔵庫(前室含) | 201.52 |
| | 特別収蔵庫(前室含) | 55.59 |
| | 燻蒸室 | 27.74 |
| | 荷解室 | 54.01 |
| | 展示倉庫 | 67.59 |
| | 倉庫 | 11.26 |
| | 小計 | 417.71 |
| | 休憩所 | 135.21 |
| 小計 | 135.21 | |
| 合計 | | 2,172.31 |

(㎡)

9 日本庭園内樹木等

常緑樹

| 樹種 | 本数 |
|----------|-----|
| アカマツ | 16 |
| アラカシ | 32 |
| イスノキ | 15 |
| イチイ | 3 |
| イヌマキ | 3 |
| ウバメガシ | 33 |
| オトメツバキ | 54 |
| カキノキ | 2 |
| カクレミノ | 25 |
| キンモクセイ | 6 |
| クスノキA | 5 |
| クスノキB | 6 |
| クロマツ | 5 |
| クロマツA | 2 |
| クロマツB | 3 |
| サンゴジュ | 151 |
| シラカシA | 20 |
| シラカシB | 24 |
| スダジイA | 10 |
| スダジイB | 15 |
| ネズミモチ | 54 |
| ヒイラギ | 14 |
| ヒイラギモクセイ | 42 |
| モチノキ | 6 |
| モッコク | 3 |

落葉樹

| 樹種 | 本数 |
|---------|----|
| イヌシデ | 8 |
| イロハモミジA | 14 |
| イロハモミジB | 12 |
| ウメ(アカ) | 2 |
| ウメ(シロ) | 3 |
| エゴノキ | 9 |
| エノキ | 6 |
| オオシマザクラ | 3 |
| カツラ | 11 |
| クヌギ | 4 |
| ケヤキA | 17 |
| ケヤキB | 9 |
| コナラ | 5 |
| コブシ | 10 |
| サトザクラ | 6 |
| サルスベリ | 4 |
| シダレザクラ | 3 |
| シモクレン | 4 |
| ソメイヨシノ | 12 |
| ナツツバキ | 2 |
| ノムラモミジ | 17 |
| ハクモクレン | 7 |
| ハナカイドウ | 34 |
| ハナズオウ | 9 |
| モウソウチク | 51 |
| ヤマザクラ | 19 |

低木

| 樹種 | 本数 |
|-----------|-----|
| アオキ | 10 |
| アジサイ | 5 |
| アセビ | 115 |
| ウバメガシ | 140 |
| オオムラサキツツジ | 145 |
| カンツバキ | 50 |
| クリシマツツジ | 270 |
| キンシバイ | 8 |
| コキヤナギ | 41 |
| コクチナシ | 55 |
| サツキツツジ | 570 |
| シャリンバイ | 175 |
| ジンチョウゲ | 120 |
| タニウツギ | 33 |
| ドウダンツツジ | 390 |
| ニシキギ | 80 |
| ハイバクシン | 480 |
| ハギ | 83 |
| ヒイラギナンテン | 98 |
| ヒサカキ | 10 |
| ビョウヤナギ | 15 |
| ヤマツツジ | 85 |
| ヤマブキ | 75 |
| レンギョウ | 115 |

地被

| 樹種 | 本数 |
|----------|------|
| アケビ | 24 |
| エビネ | 105 |
| キキジョウソウ | 245 |
| ギボウシ | 120 |
| クサソテツ | 50 |
| クマザサ | 1150 |
| コウライシバ | 115㎡ |
| コグマザサ | 3000 |
| シャガ | 1600 |
| セキショウ | 50 |
| タマリユウ | 4170 |
| ツキヌキニンドウ | 12 |
| ツワブキ | 10 |
| トワサ | 30 |
| ナギイカダ | 30 |
| ノシバ | 78㎡ |
| フジ | 6 |
| ミヤギノハギ | 115 |
| ユキノシタ | 90 |

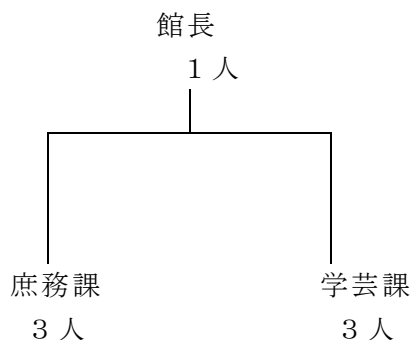
10 道路案内板設置場所



Ⅲ 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織 (平成 27 年 4 月 1 日現在)



(2) 職員

| 職名 | 氏名 |
|---------|--------|
| 館長 | 金丸 誠 |
| 庶務課長 | 岩本 明人 |
| 主査 | 東海 林和之 |
| 主査 | 山口 進吾 |
| 学芸課長 | 横山 仁 |
| 主任上席研究員 | 尾崎 晃 |
| 主任上席研究員 | 鈴木 敬子 |
| 嘱託 | 吉田 琴絵 |

(3) 展示協力員

千葉県立関宿城博物館の展示及び普及事業に関して専門的な研究を行うため、展示協力員(平成 19 年度から客員研究員を改める)を置く。任期は 2 年とする。平成 26 年度から平成 27 年度は、以下の 7 名の展示協力員を委嘱した。

千葉県立関宿城博物館展示協力員名簿

(任期 H26.4.1~H28.3.31)

| 氏名 | 役職名 | 備考 |
|------|-----------------------------------------|-------|
| 新井浩文 | 埼玉県立文書館 主任学芸員 | 地域史 |
| 石田年子 | 野田市文化財保護 審議会委員 | 民俗 |
| 市川幸男 | 財団法人全国建設 研修センター 調査役(研修第一 課長兼務) | 河川土木 |
| 岩槻秀明 | 野田市自然保護連 合会理事 | 自然科学 |
| 中村正己 | 元境町教育委員会 町史編さん室参事 | 地域史 |
| 松井哲洋 | | 和船研究 |
| 松丸明弘 | 千葉県立東葛飾高 等学校教諭 | 河川交通史 |

2 入館者の統計

(1) 平成 27 年度入館者数及び累計

| | 開館日数 | 入館者数 | 入館者数累計 |
|-----|------|----------|------------|
| 4月 | 26日 | 20,680人 | 2,704,520人 |
| 5月 | 27日 | 13,018人 | 2,717,538人 |
| 6月 | 26日 | 6,020人 | 2,723,558人 |
| 7月 | 27日 | 6,486人 | 2,730,044人 |
| 8月 | 26日 | 11,711人 | 2,741,755人 |
| 9月 | 26日 | 9,285人 | 2,751,040人 |
| 10月 | 30日 | 7,091人 | 2,758,131人 |
| 11月 | 29日 | 7,844人 | 2,765,975人 |
| 12月 | 24日 | 3,643人 | 2,769,618人 |
| 1月 | 27日 | 7,760人 | 2,777,378人 |
| 2月 | 24日 | 6,646人 | 2,784,024人 |
| 3月 | 27日 | 8,388人 | 2,792,412人 |
| 合計 | 319日 | 108,572人 | |

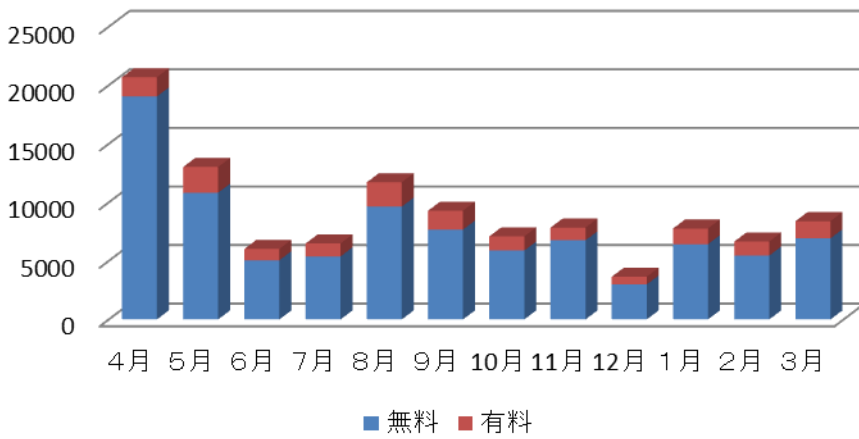
(2) 平成27年度利用状況

(単位：人)

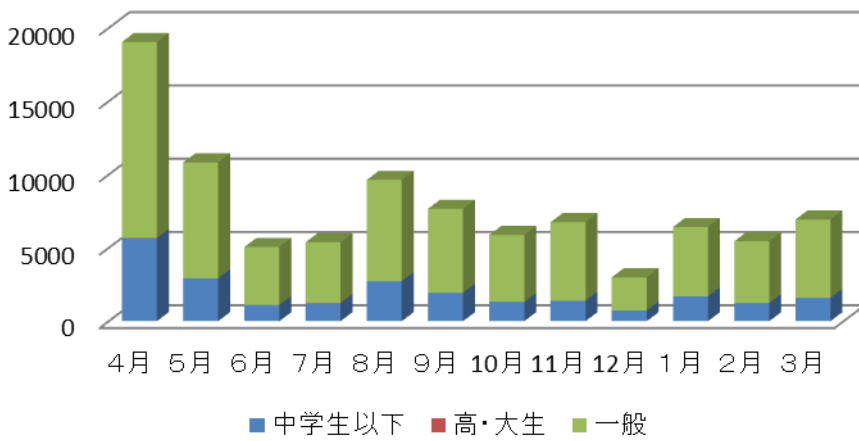
| | 開館 日数 | 入場者数 | 個人 | | | | | | | |
|-----|----------|---------|---------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|
| | | | 個人計 | 有料 | | | 無料 | | | |
| | | | | 有料計 | 一般 | 高・大生 | 無料計 | 一般 | 高・大生 | 中学生以下 |
| 4月 | 26 | 20,680 | 20,112 | 1,617 | 1,584 | 33 | 18,495 | 13,231 | 0 | 5,264 |
| 5月 | 27 | 13,018 | 12,388 | 2,158 | 2,078 | 80 | 10,230 | 7,678 | 0 | 2,552 |
| 6月 | 26 | 6,020 | 5,574 | 893 | 866 | 27 | 4,681 | 3,648 | 10 | 1,023 |
| 7月 | 27 | 6,486 | 6,058 | 1,049 | 1,020 | 29 | 5,009 | 3,777 | 9 | 1,223 |
| 8月 | 26 | 11,711 | 11,317 | 1,958 | 1,863 | 95 | 9,359 | 6,869 | 0 | 2,490 |
| 9月 | 26 | 9,285 | 8,954 | 1,603 | 1,510 | 93 | 7,351 | 5,540 | 0 | 1,811 |
| 10月 | 30 | 7,091 | 6,294 | 1,119 | 1,090 | 29 | 5,175 | 4,017 | 0 | 1,158 |
| 11月 | 29 | 7,844 | 7,130 | 959 | 938 | 21 | 6,171 | 4,780 | 0 | 1,391 |
| 12月 | 24 | 3,643 | 3,410 | 610 | 589 | 21 | 2,800 | 2,179 | 0 | 621 |
| 1月 | 27 | 7,760 | 7,565 | 1,318 | 1,277 | 41 | 6,247 | 4,703 | 0 | 1,544 |
| 2月 | 24 | 6,646 | 6,446 | 1,149 | 1,101 | 48 | 5,297 | 4,063 | 0 | 1,234 |
| 3月 | 27 | 8,388 | 8,035 | 1,419 | 1,348 | 71 | 6,616 | 5,045 | 0 | 1,571 |
| 計 | 319 | 108,572 | 103,283 | 15,852 | 15,264 | 588 | 87,431 | 65,530 | 19 | 21,882 |

| | 団体数 | 団体 | | | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-----|------|-------|-------|------|-------|
| | | 団体計 | 有料 | | | 無料 | | | |
| | | | 有料計 | 一般 | 高・大生 | 無料計 | 一般 | 高・大生 | 中学生以下 |
| 4月 | 12 | 568 | 20 | 20 | 0 | 548 | 130 | 34 | 384 |
| 5月 | 13 | 630 | 36 | 36 | 0 | 594 | 228 | 0 | 366 |
| 6月 | 15 | 446 | 70 | 70 | 0 | 376 | 301 | 0 | 75 |
| 7月 | 12 | 428 | 52 | 52 | 0 | 376 | 376 | 0 | 0 |
| 8月 | 7 | 394 | 118 | 118 | 0 | 276 | 42 | 0 | 234 |
| 9月 | 9 | 331 | 12 | 12 | 0 | 319 | 195 | 0 | 124 |
| 10月 | 18 | 797 | 92 | 92 | 0 | 705 | 548 | 0 | 157 |
| 11月 | 23 | 714 | 132 | 132 | 0 | 582 | 580 | 0 | 2 |
| 12月 | 8 | 233 | 42 | 22 | 20 | 191 | 86 | 0 | 105 |
| 1月 | 4 | 195 | 18 | 18 | 0 | 177 | 26 | 0 | 151 |
| 2月 | 7 | 200 | 49 | 49 | 0 | 151 | 149 | 0 | 2 |
| 3月 | 12 | 353 | 40 | 37 | 3 | 313 | 301 | 0 | 12 |
| 計 | 140 | 5,289 | 681 | 658 | 23 | 4,608 | 2,962 | 34 | 1,612 |

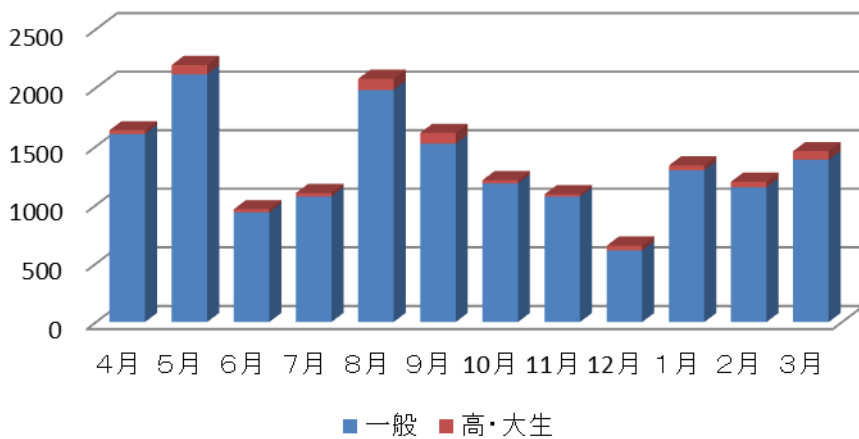
入館者内訳



無料入館者内訳



有料入館者内訳



(3) 展覧会別入館状況

| 事業名 | 実施日 | 入館者数(人) | | |
|--------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| | | 有料 | 無料 | 合計 |
| 「くずし字に親しもう」 | 4月1日～ 4月19日 (3月24日～ 4月19日) | 1,102 (1,586) | 16,194 (18,740) | 17,296 (20,326) |
| 2015国際博物館の日記念事業 「昔のくらし展」 | 4月21日～ 6月28日 | 3,674 | 18,659 | 22,333 |
| パネル展「日本の城郭と天守」 | 6月30日～ 10月1日 | 4,819 | 22,796 | 27,585 |
| 開館20周年記念 企画展「海路から広がったやきもの—近世以降の 関東—」 | 10月6日～ 11月29日 | 2,073 | 11,592 | 13,665 |
| 開館20周年記念 展覧会「チラシで見る企画展・特別展のあゆみ」 | 10月6日～ 11月29日 | 2,073 | 11,592 | 13,665 |
| パネル展「『船鑑』に描かれた和船」 | 12月3日～ 1月31日 | 1,955 | 9,218 | 11,173 |
| 本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」 | 2月2日～ 3月21日 | 2,161 | 9,952 | 12,083 |
| コーナー展「醤油ラベルの大集合」 | 3月1日～ 3月31日 (3月1日～ 4月17日) | 1,459 (2,641) | 6,929 (23,182) | 8,388 (25,823) |
| 「関宿藩すごろクイズ」 | 3月23日～ 3月31日 (3月23日 ～4月24日) | 496 (1,939) | 2,425 (19,738) | 2,921 (21,677) |

(4) 入館者の状況

平成27年度の入館者数は108,572人で、前年度と比較すると5,516人増加している。特に8月は大きく増加している。その要因として、野田市主催の「戦後70周年記念 野田市鈴木貫太郎記念館・野田市関根名人記念館・千葉県立関宿城博物館スタンプラリー」によって入館者増につながったものと思われる。

3 ミュージアムショップの状況

来館者サービスの一環として、ミュージアムショップにおいて博物館関係書籍、地元の物産などを販売した。この他、飲料水用自動販売機、望遠鏡を設置し、多くの来館者に利用されている。

IV 平成27年度の事業概要

1 展示活動

[1] 常設展「河川とそれにかかわる産業」

(1) 房総の河川～近現代の利根川・江戸川～

利根川・江戸川は、近世以降江戸へ通じる水運の大動脈として利用されたが、その一方でたびたび氾濫を引き起こして各地に大きな被害をもたらした。

これらの河川は、明治後期から大正にかけて改修工事が行われており、常設展では、災害の様子・水とのたたかい・改修工事の様子を紹介している。

<主な展示項目>

- ・水塚の役割
- ・水防工法と組織
- ・利根川・江戸川の洪水と治水の歴史
- ・利根川の改修工事
- ・関宿水閘門

(2) 房総の河川～近世の利根川・江戸川～

江戸時代初頭に行われた利根川の東遷に端を発した利根川流域における大がかりな河川改修事業や、手賀沼・印旛沼の干拓事業などの様子を絵図や模型で紹介している。

<主な展示項目>

- ・徳川幕府と利根川の東遷

- ・ 関東流と紀州流
- ・ 関宿棒出し
- ・ 手賀沼・印旛沼の干拓

(3) 河川交通と伝統産業

利根川水運の主役として活躍した、高瀬船の大型模型を展示室の中央に配し、両側に河岸問屋と醤油蔵を再現し、それぞれ河岸問屋、流域の伝統産業に関わる展示を行っている。

< 主な展示項目 >

- ・ 利根川水運の変遷
- ・ 高瀬船と通運丸
- ・ 流域の伝統産業
- ・ 河川が育てた文化

[2] 常設展「関宿藩と関宿」

企画展開催以外の期間に展示を行っている。関宿藩の推移や藩主久世氏関係の資料を展示している。

< 主な展示項目 >

- ・ 関宿城の歴史
- ・ 久世氏の活躍
- ・ 関宿藩士

なお、展示室1・展示室2・展示室3・企画展示室に一般向け解説シート（日本語版・英語版）を置いている。

[3] 開館20周年記念 企画展

「海路から広がったやきものー近世以降の関東ー」

開催期間 10月6日（火）～

11月29日（日）

開催日数 55日

見学者数 13,665人

解説会 11月3日（祝・火） 187人参加

11月23日（祝・月） 94人参加

江戸時代、海を越えて関東以西から江戸川・利根川周辺の地域に様々な物が入ってきた。その中の一つとして陶磁器は存在している。陶磁器は、中国や朝鮮半島からモノが入り、後に西日本で陶磁器の産地を形成した。関東では中世以前の西日本の陶磁器が発見されている。江戸時代に至るまで、陶磁器は船を使い、海を渡って江戸に入り、川を使って内陸部に入ってきた。

陶磁器はどの産地からどのような経路でどんな陶磁器が入ってきたか、そして暮らしの中で

どのように入り込んでいったかを紹介した。

そして江戸時代後期に関東内にできた陶磁器の産地と西日本の産地との関わりについても紹介し、海を渡って入ってきた陶磁器の関東への広がりについて伝えた。

1 西からきたやきもの

日本のやきものの製作の歴史は、土器に始まる。1万年以上前に始まり、時代が下がり炆器、陶器、磁器と時代を追ってやきもの製作技術が定着していく。炆器は大陸から関西、東海に産地が形成され、江戸時代初期に朝鮮半島から九州を中心に磁器の産地が興る。関東では江戸時代後期に産地が形成されるが、その後も西方の産地から海を渡ってやきものは入ってきていた。

(1) やきものとは？

① やきものの種類

粘土を形作り、焼いたものをやきものという。その材質や焼成温度、性質等で土器・炆器・陶器・磁器の四つに分けられる。

土器は、低温で焼成し、無釉で、液体が滲み出す性質を持つ。炆器は高温で焼成され、無釉で液体を入れても滲み出さない。陶器は低温焼成のものと高温焼成に分けられ、釉薬がかかっているため、滲み出さない。磁器は、石を原料とした粘土を高温で焼成し、釉薬がかかっており、液体が滲み出さない。

② やきもの主な産地

炆器で有名な産地は、備前焼、信楽焼、丹波焼、越前焼、常滑焼、瀬戸焼、珠洲焼、渥美焼などで中世に産地が形成されている。陶器は、中世から産地形成された瀬戸焼、近世以降の唐津焼、薩摩焼、萩焼、笠間焼、益子焼などが挙げられる。磁器は伊万里焼、後に磁器を開発した瀬戸焼、明治期に興った砥部焼などが有名である。

< 展示資料等 >

土師器の甕、常滑壺、備前焼茶碗、有田焼鉢、陶石

(2) やきものの流通

関西・東海地方に炆器の産地は多くあり、中世に多く流通した。関東でも甕や壺の類が発見され、流通していたことが分かる。中世末期以降の茶陶の流行や近世初期の磁器の産地形成により、近世は炆器以外にも陶器、磁器が関東に入ってきている。高価な磁器等は武士階級が使用を始め、徐々に庶民にも浸透していく。時代が下るにつれ、入荷するやきものの種類も増え、やきもの生活への定着が読み取れる。

やきものが荷揚げされる港は品川港が中心

で、そこから川船に積み替えられて江戸川を北上して内陸部に入ってきた。

<展示資料等>

肥前唐津産折縁皿、船舶模型 弁才船(べざいせん)、藁荷造りのカラゲ(ドンブリ)

2 暮らしの中のやきもの

中世までに関東地方で使われている暮らしのやきものは限られており、貯蔵用の甕壺や調理用の鍋の類、灯火具などであった。近世になって磁器が出回るようになると、武家での使用に始まり、町場でも磁器の使用が始まり、徐々に農村部に浸透していく。

(1)町の発達と舟運

中世まで、関東には須恵器の流れを汲む常滑焼や信楽焼などの炝器、瀬戸美濃系陶器が入ってきていた。江戸時代になり、江戸では瀬戸物屋(やきもの屋)ができ、やきものに特化した店が存在したが、江戸を離れるとそれだけに特化した店は、あまり存在しなかった。やきものは荒物屋で売られていたり、お茶屋で売られていたりした。

河岸場の登荷の記録にはやきものが登場するため、やきものが江戸を介して入り込んでいた。河岸場から瀬戸物を扱う商人は、農村部へ荷車等を用い、販売に歩いた。

<展示資料等>

十組奥川船積問屋場所附(複製)、高瀬舟 模型、絵葉書「境町下仲町ヨリ船戸町ヲ望ム」

(2)暮らしの中のやきもの

①城内で使われたやきもの

関宿城址から肥前系のやきものが発掘されていることから、武家では伊万里焼等の肥前系のやきものが使われていたことがわかる。江戸時代においては、武家に伊万里焼の色鍋島などの見事な磁器があることがステイタスになっていたため、関宿藩士の中でも使われていた。また、中世末期以降、武家の中で盛んになった茶道により、茶陶も使われていた。

②ハレの日のやきもの

人は人生儀礼として様々な祝いをする。誕生、結婚、出産、葬式などの儀礼では、ハレの日の食器として、磁器を使用した。

町場では、武士も商人も色絵付けの施された磁器を持ち、それを使用して祝った。農村部では、名主などの名家で磁器をセットにして持ち、様々な庶民に貸出をして祝いを行った。

③日常のやきもの

江戸時代、日常に必要なやきものは限られていた。食料保管用として水甕や塩壺、調理具として土鍋、灯火具として灯明皿、暖房具として火鉢やアンカなどに限られる。現在の食器としてなどの使われ方は、富裕層から使われるようになった。

<展示資料等>

大名火鉢、ふた付き重ね鉢(3段)、すり鉢、ホウロク、水かめ、日常の食事、染付雲竜兎鴨飛蝶唐草文大皿

(3)様々に使われたやきもの

日常以外にもやきものは様々な場面で登場する。例えば、医療用陶磁器として瓶や小皿、お茶の保管及び輸送用としての茶壺、酒を販売するために酒屋が貸し出す徳利、紺屋が使用する藍甕などである。

<展示資料等>

美濃 高田徳利、マワタのぼし、藍甕、茶甕、点眼瓶

3 やきもの技術の伝播

やきもの技術は、中国や朝鮮半島から入ってくる。5世紀頃に中国の陶器の技術が入り、中部・関西地方で産地が形成される。中世末期に九州、中国地方に朝鮮半島の技術を取り入れた産地ができる。江戸時代になり、様々な藩がすでに国内にある産地から技術を得、御庭焼を作る。また関東にも国内の産地から技術を得て、今戸焼や笠間焼、益子焼等が登場する。

(1)関東産のやきもの

①笠間焼

信楽焼の技術を学び、江戸時代中期に笠間藩主の仕法窯として開窯した。日常雑器を中心に製作。

②周辺にできたやきもの産地

・益子焼

江戸時代末期に笠間焼から技術を習得し、開窯。日常雑器を中心に製作。明治になり、イギリスのバーナード・リーチと柳宗悦が民芸運動を興し、その運動に参加した浜田庄司が益子焼をヨーロッパに紹介する。

・小砂焼

江戸時代末期に水戸藩主が主導して興した産地。日常雑器を中心に製作。

<展示資料等>

笠間 湯たんぼ(柿釉)、益子 行平鍋、小砂 雲助徳利

(2)技術の伝播

焼成方法としては、野焼きから穴窯、登り窯に変化する。作陶技術は、つまみ出し作りや紐作りなどの手びねりから回転台であるロクロを使った作陶が挙げられる。釉薬の技術としては、鉛釉、灰釉、鉄釉などがある。

また関東の産地では、関東以西の信楽焼や常滑焼の技術が入ってきた。明治時代以降には、関東以西の産地から渡り職人が関東の産地にきて仕事をしたため、似通ったやきものが見られる。

<展示資料等>

蹴ロクロ、笠間焼の成形道具、ききょう台、益子 山水土瓶、信楽 山水土瓶、相馬 山水土瓶

IV 現代に続くやきもの文化

明治時代以降、藩からの保護がなくなった各地の窯元は、生き残りをかけて様々なやきものを作り、販売する。また海外に目を向け、各国の万国博覧会に有田焼や美濃焼が出品され美術工芸品としてのやきものの輸出が行われた。益子焼は一時、アメリカで販売された。電気の碇子や洗面台など、特化したやきものを作り、会社組織になっていく窯元も出てきた。やきものは、食器だけでなく、多様化して現代に生き続けている。

<展示資料等>

会津本郷 鮫肌釉 土瓶、染錦雲散らしコーヒーマット、東山焼染付燭台、坐式便座



[4] 「くずし字に親しもう」

開催期間 3月24日(火)～4月19日(日)

開催日数 24日

見学者数 20,326人

ひらがなのくずし字を提示し、その下に回答となるひらがなを用意して、クイズ形式でくず

し字に親しんでもらった。くずし字を使ってつくられた古文書に出てきて、現代では使われない言葉をあわせて紹介した。



[5] 2015年国際博物館の日記念事業

「昔のくらし展」

開催期間 4月21日(火)～6月28日(日)

開催日数 61日

見学者数 22,333人

昭和初期から中期頃の暮らしに関する民俗資料を中心に、「住まう」「食べる」「着る」「働く」「遊ぶ」の五つのテーマに沿って展示し、今の子どもたちのおじいちゃんやおばあちゃんが暮らしていた頃の様子を再現した。また、体験コーナーを設けて、当時の暮らしぶりや遊びを追体験できるよう、土・日曜日の午後1時～3時に昔の遊びを実演するボランティアを配置した。さらに、「思い出ノート」を設置し、実際に体験した思い出を見学者に書いてもらって展示したり、ホームページに掲載した。

「いろんなコーナーに分かれて良い」「昔のくらしが種類別に分かれていて、とても見やすかった」「老若男女、誰でもが分かりやすい説明内容であった」と、展示方法について見学者から高評価を得た。



[6] パネル展「日本の城郭と天守」

開催期間 6月30日(火)～10月1日(木)

開催日数 81日

見学者数 27,585人

全国の復原・復興された天守を持つ城のうち、11城を取り上げ、城絵図と一緒に写真で紹介し、築城者や再建者の簡単な解説を加えた。また写真提供先のホームページとリンクを貼り、展示している城のPRも行った。

併せて城に関する用語解説や各城絵図による城の描き方の違いも説明した。関連行事として「お城クイズにチャレンジしよう!」を実施し、多くの人に城への興味や関心を高めることができた。



[7] 開館20周年記念 展覧会

「チラシで見る企画展・特別展のあゆみ」

開催期間 10月6日(火)～

11月29日(日)

開催日数 55日

見学者数 13,665人

開館以来開催してきた企画展や特別展のチラシを展示し、企画展の歩みを紹介した。また、来館者を対象に、どの企画展・特別展に興味を湧いたかを調査した。その結果、平成15年度共同企画展「英雄・怨霊 平将門～史実と伝説の系譜～」、平成18年度企画展「利根川東遷と関宿藩」の順で興味度が多かった。



[8] パネル展「『船鑑』に描かれた和船」

開催期間 12月3日(木)～1月31日(日)

開催日数 49日

見学者数 11,173人

享和2年(1802)に作成された『船鑑』に描かれている利根川水系の和船を取り上げ、それぞれの地域で活躍していた和船の種類と当時の様子を紹介した。パネルだけでなく、模型も展示した

ことで、見学者は和船に対する理解が深まったようだ。





[9] コーナー展「醤油ラベルの大集合」

開催期間 3月1日(火)～4月17日(日)

開催日数 41日

見学者数 25,823人

館蔵している醤油ラベルを地域ごとに展示し、醤油ラベルから見えてくる醤油の歴史的背景や産地などを紹介した。また、ラベルの起源や役割などもあわせて展示した。



[10] 「関宿藩すごろクイズ」

開催期間 3月23日(水)～4月24日(日)

開催日数 29日

見学者数 21,677人

江戸時代に関する自然災害などのできごとと関宿藩についてクイズなどに沿って、サイコロを振りながら双六を行い、楽しみながら江戸時代や関宿藩に親しんでももらった。

2 教育普及活動

[1] 講座

(1) 歴史講座

①海路から広がったやきもの

期 日 10月18日(日)
受講者数 22人(定員50名)
講 師 国士舘大学講師
岩下 祥子

タイトル 「北関東製陶地成立と展開～笠間と益子、二大製陶地の歩み～」

笠間焼と益子焼の成り立ちを経済史的な視点で読み解いた。笠間焼が益子焼よりも先に成立し、笠間焼から益子焼に技術の伝播があったこと、明治以降のそれぞれの産地の動向を講義した。



初級編(3回連続)

期 日 9月6日(日)
10月11日(日)
11月1日(日)

受講者数 67人(定員90名)

講 師 古文書研究会
顧問 中村正巳

古文書辞典の使い方を学習し、グループで「尾崎家御家訓」をテキストにして、グループごとに相談しながらくずし字を読んだ。



②古文書を読む

入門編(3回連続)

期 日 6月7日(日)
7月12日(日)
8月9日(日)

受講者数 111人(定員90名)

講 師 関宿城博物館古文書研究会
会長 佐藤 和宏

変体仮名を中心にゲームを通してくずし字の読み方を学習し、明治初期の高札をテキストにして、簡単なくずし字を読んだ。

(2) 博物館セミナー

第1回

期 日 8月30日(日)

受講者数 9人(定員30名)

演 題 河川敷にススキは生えているかー
秋の河川敷に見られる植物ー

講 師 展示協力員 岩槻秀明

秋の河川敷で観察できる植物を紹介し、河川

敷の植生について解説した。



第2回

期 日 9月26日(土)

受講者数 39人(定員30名)

演 題 戦後七十年 鈴木貫太郎終戦内閣
について

講 師 展示協力員 中村正己

旧関宿町出身で終戦時の内閣総理大臣であった鈴木貫太郎について解説した。



第3回

期 日 11月22日(日)

受講者数 21人(定員30名)

演 題 天明3年の浅間山噴火と利根川の
洪水について(土木の日に因んで)

講 師 展示協力員 市川幸男

天明3年の浅間山噴火とそれによって引き起こされた利根川の洪水に触れ、噴火の影響の大きさを解説した。



第4回

期 日 12月20日(日)

受講者数 7人(定員30名)

演 題 野田市の回国塔と嶋村庄造の納経
帳

講 師 展示協力員 石田年子

江戸中期に回国塔と納経帳を残した嶋村庄造を中心に、漂白する行者達の様子について解説した。



第5回

期 日 1月17日(日)

受講者数 24人(定員30名)

演 題 利根川・江戸川舟運～川岸・河岸・
河岸問屋～

講 師 展示協力員 松丸明弘

江戸時代の利根川や江戸川を航行した舟と舟運・河岸の様子などについて解説した。



第6回

期 日 2月21日(日)

受講者数 23人(定員30名)

演 題 築田家文書の世界Ⅲ－書状－

講 師 展示協力員 新井浩文

築田家文書の中から書状を中心に上げ資料の特色を述べると共に、後北条氏と度々合戦に及んだ時代背景についても説明した。



第7回

期 日 3月13日(日)

受講者数 14人(定員30名)

演 題 古代の船の姿を推測する

講 師 展示協力員 松井哲洋

弥生から古墳時代にかけての出土遺物から、浮かび上がる古代の船の姿を説明した。



(3) 野外講座

①歴史散歩－関東のやきものの里を訪ねて－

期 日 10月25日(日)

参加者数 38人(定員40名)

担 当 主任上席研究員 鈴木 敬子

企画展に関連して、友の会主催で栃木県芳賀郡益子町にある益子陶芸美術館を訪れ、学芸員から益子焼の歴史の解説を受けた。また、観光地としての益子焼を作った益子町窯元共販センターと明治時代から続く窯元、成井窯の見学を行った。土練りと蹴ロクロによる生の作陶風景、焚いたばかりの登り窯の窯の中の見学など、普段見ることのない貴重な見学になった。



(4) 郷土食講座

①そば打ち

期 日 (打ち方コース)

5月17日(日)

10月17日(土)

(打ち方+ゆで方コース)

6月14日(土)

11月15日(日)

受講者数 57人(定員72名)

実技指導者 関宿そば打ち愛好会

そば打ちの工程を一通り体験し、全員が4～5人前のそばを完成させた。最初に、関宿そば打ち愛好会のメンバーによるそば打ちの実演を見学してから、参加者がそば打ちを体験した。

(打ち方コース)は、そばを切るまで、(打ち方+ゆで方コース)は、自分で打ったそばを茹でて試食した。実演見学後、参加者は直ぐ実習に入るため、イメージが残っており、そば打ちのコツの習得が早かった。参加者数が多かった会で、実演が見られない人が出た回があったため、その後、参加者が多い場合は実演を2テーブルに分けて行い、どの参加者も見学できるようにした。



②小麦まんじゅうづくり

期 日 6月20日(土)

6月21日(日)

1月23日(土)

1月24日(日)

受講者数 110人(定員120名)

実技指導者 川俣カツエ

川俣綾子

夫婦・親子・友人などのグループに分け、実技指導者のもと、「小麦粉と重曹の調合」「生地づくり」「アン包み」「蒸す」「関宿城の焼印を押す」の手順で行った。また、生地をねかせておく30分間、関宿城下の模型を使って学

芸員が参加者に関宿の歴史を講話した。



③投網漁と川魚料理

期 日 9月27日(日)

受講者数 10人(定員20名)

実技指導者 櫻井文男

小久保喜太郎

川俣カツエ

川での投網漁についての説明を受けた後、投網の投げ方を体験し、川魚のさばき方を見学した。また、さばいた川魚を天ぷらにして試食した。



④こんにゃくづくり

期 日 11月8日(日)

受講者数 30人(定員30名)

実技指導者 船橋正子

3人一組のグループで作業を行い、こんにゃくを作った。そして、全員で出来たてのこんにゃくを試食した。



⑤ 鷹菜漬け

期 日 2月27日(土)
 2月28日(日)
 3月5日(土)
 3月6日(日)

受講者数 34人(定員40名)

実技指導者 川俣カツエ
 川俣綾子

樽に鷹菜と塩を交互に入れ、上に乗って足踏みをして重しをかける作業を行った。また、鷹菜を使った調理例として炒り菜汁を作って試食し、鷹菜の味を知ってもらった。



[2] 体験教室—みんなでふれあい体験—

(1) 河川敷のいきものさがし(1日コース)

期 日 8月1日(土)

参加者数 17人(定員20名)

講師 展示協力員 岩槻秀明

関宿城博物館周辺の中之島公園を散策し、そこに生息する昆虫や植物などを採集した。採集した昆虫や植物などを観察してスケッチ、気がついたことを書き留めてもらい、わからないことは講師に答えてもらった。夏休みの自由研究としても対応できる体験教室になった。



(2) 河川敷のいきものさがし(半日コース)

期 日 10月24日(土)

参加者数 10人(定員20名)

講師 展示協力員 岩槻秀明

関宿城博物館から河川敷の江戸川流頭部まで、解説を聞きながら自然観察を行った。流頭部付近では同じ道に戻らず、円を描くように散策をした。集会室に戻ってからは、途中で見かけたバッタについて資料で確認するとともに解説を行った。



(3) 飛ばせ水ロケット

期 日 7月26日(日)

参加者数 19人(定員20名)

担 当 主任上席研究員 尾崎晃

ペットボトルを材料にした水ロケットを制作し、完成品を当館脇の多目的広場で打ち上げた。親の手助けを多少借りながらも子供達は和気あいあいと水ロケットを作っていた。打ち上げの時は空気の入力加減を工夫し、かなり高く飛ばした子供もいた。



(5) 関宿城下を歩こう(半日コース)

期 日 5月23日(土)

11月28日(土)

参加者数 43人(定員60名)

担 当 学芸課長 横山 仁

午前10時に集合し、集会室で見学場所について簡単なガイダンスを行った後、中之島公園内の散策を中心にスタートした。三縣鶏鳴之碑→浚渫船→関宿水閘門→中之島公園→鬼門除け稲荷→の順に巡り、それぞれの場所で学芸員が説明を行いながら、利根川・江戸川改修に関連した歴史遺産などを見学した。

参加者からは「時間的にゆったり見学できた」「距離的にちょうど良い長さであった」という感想が寄せられ、見学コースの時間配分や距離に満足していた。

(4) 関宿城下を歩こう(1日コース)

期 日 4月25日(土)

10月10日(土)

3月19日(土)

参加者数 89人(定員90名)

担 当 学芸課長 横山 仁

午前10時に集合し、集会室で見学場所について簡単なガイダンスを行った後、関宿城下の散策をスタートした。関宿城本丸跡→筋違いの十字路→外堀・土塁跡→関宿関所石碑→随庵堀と随庵碑→昌福寺→実相寺→宗英寺→鈴木貫太郎記念館→光岳寺と延命子育て地藏尊→水塚→首塚(刑場跡)の順に巡り、それぞれの場所で学芸員が説明を行いながら、関宿の歴史に触れた。

参加者は、「説明付きで良く分かり、歩く距離もちょうど良く、楽しかったです」「近くに住んでいながら見学する機会がなかったので、良い企画だと思います」「関宿の歴史が分かって良かったです」などと、このイベントに満足していたようだった。



(6) 版画年賀状教室

期 日 12月6日(土)

参加者数 一人(定員10名)

実技指導者 日本版画院同人 地井紅雲

実技指導者の都合により、中止。

(7) 「兜をかぶってハイ、ポーズ！」

期 日 5月5日(祝・木)

端午の節句の由来を伝えることによって、日本の伝統行事について知ってもらうとともに、兜をかぶって写真を撮れるようにすることでその行事に親しみをもってもらった。



(8) 県民の日「せきはくパック」

期 日 6月15日(月)

千葉県や関宿藩についてのまめ知識の入った解説シートやぬりえを選び、自分だけのオリジナル解説パックを作り、持ち帰ってもらった。



(9) お城クイズにチャレンジしよう!

期 日 8月8日(土)・29日(土)

9月5日(土)・12日(土)

参加者数 201人

担 当 主任上席研究員 尾崎晃

パネル展「日本の城郭と天守」に関連して、参加者に日本の城に関するクイズを渡し、展示室で答えを探し、エントランスで答え合わせをした。子供だけでなく大人も多く参加し、城を訪れた時の思い出で賑わった。



(10) ワークショップ「やきものの世界を知ろうー蹴ロクロ実演」

期 日 10月31日(土)

11月21日(土)

見学数 165人

講師 館職員

蹴ロクロによる作陶の実演を行った。蹴ロクロによるやきもの作りは珍しく、質問も多く飛び交った。



(11) ワークショップ「やきものの世界を知ろうー模様つけ体験ー」

期 日 11月7日(土)

11月29日(日)

参加者数 34人(体験時間内随時6名)

講師 館職員

明治時代に磁器の絵付けとして行われた印判染付の技術を使い、素焼きに和柄を摺り込んでマグネット作りの体験を行った。



(12) ワークショップ「やきもの屋」

期 日 10月6日(火)～11月29日(日)

線書きされた茶碗や壺の紙に絵付けをし、パネルのやきもの屋に貼ることによって、やきものを身近に感じてもらう目的で実施した。



(13) オリジナルラベルを作ろう

期 日 3月1日(火)～4月17日(日)

参加者数 598人(3月1日～31日 283人)

コーナー展に併せて実施。枠線の入ったラベ

ルを色付けし、名称をいれてもらい、自分の文房具や瓶などに貼るオリジナルラベルを作ってもらった。ラベルの役割を考えてもらうとともに、ラベル作りを楽しんでもらった。



(14) ぬりえチラシ

期 日 平成27年5月5日・6月15日・8月8日・29日・9月5日・12日・10月6日～11月29日・平成28年3月1日～31日をのぞく開館日

参加者数 598人(3月1日～31日 283人)

当日実施している展示や企画実施予定の体験教室などのチラシを兼ねたぬりえ。ぬりえを楽しんでもらうとともに、当館で行うさまざまな行事の広報を行った。また、希望者にはパネルにぬり絵を展示した。

[3] スケッチ展

(1) スケッチ展

①本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」

開催期間 2月2日(火)～

3月21日(祝・月)

開催日数 43日

見学者数 12,083人

本橋尚徳氏が関宿城の内外を問わず、さまざまな方向から描いた水彩画30点を展示した。水彩画の持つ素朴でやさしい雰囲気と、描写する角度によっていろいろな面を見せる関宿城の姿が大変好評であった。



[4] イベント

(1) 第17回関宿城将棋大会

①大人の部

期 日 5月4日(祝・月)

参加者数 64人(定員64名)

始めに、4人で1つのグループをつかってリーグ戦をおこない、1位から4位までの順位を決めた。次に、1位グループをA級、2位グループをB級、・・・とし、各級16人でトーナメント戦を行い、それぞれの級で優勝、準優勝、3位の優秀者を決めた。熱戦の末、美馬和夫さん(茨城県牛久市)がA級で昨年に引き続き優



勝した。

<優勝者> (敬称略)

A級優勝 美馬和夫

B級優勝 石野有真

C級優勝 松浦孝幸

D級優勝 渡辺義夫

②子どもの部

期 日 5月5日(祝・火)

参加者数 71人(定員64名)

対局の方法は前日の大人の部と同じで、午前中に予選リーグ戦が終了した。昼食を挟んで、午後は各級でのトーナメント戦を行い、各級の優秀者が決定した。A級では、渡辺晴磨さん(松戸市)が昨年に引き続き優勝した。



<優勝者> (敬称略)

A級優勝 渡辺晴磨

B級優勝 上田琥珀

C級優勝 渡辺歩高

D級優勝 千葉広大

(2) 関宿城で初日の出をみよう

期 日 1月1日(祝・木)

参加者数 35人(定員40名)

担 当 学芸課長 横山 仁

薄暗い午前6時30分に集合し、集会室で新年のあいさつをした後、全員で4階の展望室にのぼった。野田市の初日の出時刻は午前6時50分。太陽が東の空に顔を覗かせた瞬間、多くの参加者がカメラのシャッターを切っていた。太陽が昇るにつれ、光がまぶしくなっていた。

また、雪に覆われた富士山がくっきりと見え、新春の記念として富士山を撮影している参加者もいた。



(3) 第20回関宿城まつり
第8回関宿城さくらまつり

期 日 4月12日(日)

参加者数 20,000人

「関宿城まつり」と「関宿城さくらまつり」との合同の催しである。

「関宿城まつり」は大名行列をメインとして、関宿城博物館周辺で古武道の演武や和太鼓演奏などが行われた。

「関宿城さくらまつり」は会場の東側にステージが設営され、フラダンスや和太鼓の演舞などが行われた。



[5] 刊行物

展示内容の理解を助けるパンフレット・解説シート類及び、企画展の開催を広報するポスターの他に冊子として刊行したものは以下のとおりである。

- ・企画展図録「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」
A4版18頁、500部(2015.10.1)
- ・研究報告第20号
A4版58頁、200部(2016.3.23)

[6] 情報提供

今年度も、企画展を始め各事業の開催について、地元記者クラブなどへの情報提供を行うほか、各市町発行の広報誌や地元タウン誌にもきめ細かく情報を提供した。

(1) 新聞での報道

- ・ 4月 3日(金) 地域新聞 「第20回関宿城まつり・第8回関宿城さくらまつり」の紹介
- ・ 4月17日(金) 千葉日報 昔のくらし展の紹介
- ・ 4月26日(日) 千葉日報 昔のくらし展の紹介
- ・ 5月14日(木) 読売新聞 「第20回関宿城まつり・第8回関宿城さくらまつり」の紹介
- ・ 6月29日(月) 千葉日報 パネル展「日本の城郭と天守」の紹介
- ・ 7月 3日(金) 地域新聞社 体験教室「飛ばせ水ロケット」の紹介
- ・ 7月 4日(土) 千葉日報 パネル展「日本の城郭と天守」の紹介
- ・ 8月25日(火) 千葉日報 パネル展「日本の城郭と天守」の紹介
- ・ 8月25日(火) 千葉日報 博物館セミナー①の紹介
- ・ 9月26日(土) 千葉日報 パネル展「日本の城郭と天守」の紹介
- ・ 9月26日(土) 千葉日報 企画展「海路から広がったやきもの

- の一近世以降の関東一」の紹介
- ・ 10月28日(水) 東京新聞 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介
 - ・ 10月31日(土) 千葉日報 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介
 - ・ 11月11日(水) 千葉日報 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介
 - ・ 11月11日(水) 毎日新聞 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介
 - ・ 11月15日(日) 茨城新聞 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介
 - ・ 12月16日(水) 千葉日報 郷土食講座「小麦まんじゅうづくり」の紹介
 - ・ 1月25日(月) 千葉日報 郷土食講座「鷹菜漬け」の紹介
 - ・ 2月13日(土) 千葉日報 本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」の紹介
 - ・ 2月13日(土) 朝日新聞 本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」の紹介
 - ・ 3月15日(火) 千葉日報 本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」の紹介
- (2) テレビでの報道
- ・ 6月27日(土) 午後8時～8時25分 チバテレビ「ちば見聞録」 千葉の城下町～関宿～
 - ・ 9月1日(火) 午後10時～10時45分 NHK・Eテレ

- 「先人たちの底力 知恵泉～伊奈忠次～」
- ・ 12月1日(火)～15日(火) JCOM葛飾「ふれあい街歩き『今日はDOKO!?行く?』」
 - ・ 2月13日(土) 午後10時～10時15分 チバテレビ「ウィークリー千葉県」特集 歴史感じるまち 関宿
- (3) ラジオでの報道
- ・ 4月23日(木) 午前11時10分～11時20分 NHK・FMちば「ひるどき情報ちば」 「昔のくらし展」の紹介
 - ・ 10月29日(木) 午前11時10分～11時20分 NHK・FMちば「ひるどき情報ちば」 企画展「海路から広がったやきもの一近世以降の関東一」の紹介

(4) ホームページ等による広報

関宿城博物館の概要や行事の開催案内を、ホームページならではの速報性をもって情報提供している。また、「せきはくマガジン」の配信も行っている。今年度は4月21日付け第182(104)号～3月20日付け第193(115)号までの配信を行った。

[7] 平成27年度の博物館実習について

当館では、学芸員資格取得に必要な単位取得のため、大学の依頼により博物館実習を実施している。

今年度は、次の1大学より1名を受け入れた。

- ・ 筑波大学 1名

期 間 7月23日(木)～7月31日(金)

日程及び内容

| 日程 | 内 容 |
|-----|--------------------------------------|
| 1日目 | 開講式、オリエンテーション、施設見学、博物館の概要、博物館の管理運営 |
| 2日目 | 展示・普及・研究事業の概要 博物館事業の集計 |
| 3日目 | 広報活動の実務 |
| 4日目 | 普及体験事業の実務 (体験教室「飛ばせ水ロケット」) |
| 5日目 | 実習休み |
| 6日目 | 資料分類・整理の実務 資料取扱の実務 |
| 7日目 | 展示計画の実務(計画立案) 展示計画の実務(計画書の作成) |
| 8日目 | 展示計画の実務(計画書の作成) |
| 9日目 | 展示計画のとりまとめと発表準備 実習まとめ・講評・館長講話・閉講式 |

[8] 学校との連携

各学校において、総合学習として博物館を利用するケースが多い。それに対応するため、当館は事前に見学の打ち合わせを行っている。

また、職場体験学習・出前授業・教員研修などの要請にも対応している。

(1) 団体見学の対応

別項「平成27年度の主な事業と来館者」を参照する。

(2) インターンシップ

- ・ 8月5日(水)～8月7日(金)
千葉県立柏中央高等学校1学年 2人

(3) 職場体験学習

- ・ 6月10日(水)～6月12日(金)
野田市立二川中学校2学年 4人

(4) 出前授業

- ・ 8月26日(水)
野田市立東部学童保育所 33人
- ・ 8月27日(木)
野田市立関宿中央第二学童保育所 26人
- ・ 8月28日(金)
野田市立関宿中央第二学童保育所 27人
- ・ 9月2日(水)
野田市立関宿学童保育所 24人

(5) 研修会

- ・ 6月26日(金)
全国大学博物館学講座協議会 150人
- ・ 8月19日(水)
千葉県教育研究会社会科部会東葛飾支会 44人
- ・ 8月22日(土)
野田市教育研究会社会科部会 45人

[9] 社会教育機関等との連携

団体見学や出前講座などの要請に対応している。

(1) 団体見学の対応

別項「平成27年度の主な事業と来館者」を参照する。

(2) 出前講座

- ・ 6月19日(金)
野田市川間公民館 19人
- ・ 9月3日(木)
公益財団法人いきいき埼玉 彩の国いきがい大学 春日部学園 21人
- ・ 1月14日(木)
千葉県立中央博物館大多喜城分館 12人
- ・ 1月16日(土)
野田市立せきやど図書館 26人
- ・ 1月20日(水)
鎌ヶ谷市シルバー大学院 シニアサークル 60人
- ・ 2月2日(火)
公益財団法人いきいき埼玉 彩の国いきがい大学 春日部学園 23人

(3) 講演会

- ・ 11月7日(土)
ミツカン水の文化センター「里川文化塾」 35人

[10] ボランティア活動状況

- ・ 展示ガイダンス 延べ 73人
- ・ 博物館資料整理 延べ 105人
- ・ 昔の道具体験指導 延べ 19人

- ・郷土食講座（関宿そば打ち愛好会）
延べ 5人
- ・古文書解説（古文書研究会）
延べ 145人

3 資料の収蔵・整備

寄贈資料

研究および展示等に活用するため、以下の資料の寄贈を受けた。

| 資料名 | 点数 |
|-----|----|
| 浮世絵 | 3 |

寄託資料

研究および展示等に活用するため、以下の資料の寄託を受けた。

| 資料名 | 点数 |
|---------------|----|
| 絵図 | 2 |
| 脇差（一時返還し、再寄託） | 1 |
| 刀（一時返還し、再寄託） | 4 |

4 調査研究

平成8年度以降、年度ごとにその成果を「研究報告」誌上で発表している。今年度は「研究報告」第20号を刊行した。

【研究報告第20号掲載論文】

[史料紹介]

新井浩文 「築田家文書の世界」Ⅲ－書状類②－

[研究ノート]

松丸明弘 高瀬船の船頭とその家族－船とともに暮らした人々－

中村正己 鈴木貫太郎侍従時代の二・二六事件について

岩槻秀明 鎮守の森、史跡等の植生（2）
－白山神社（野田市木間ヶ瀬地区）、八幡神社（野田市新田野）－

松井哲洋 千葉県印西市の船－「さっぱ舟」・「田舟」－

市川幸男 江戸川・中川沿川にある選奨土木遺産について－

5 平成27年度の資料活用

- ・「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡船橋の図」写真
TBS「なんで？なんで？なんで？」にて

放映

- ・水塚ジオラマ 他4点
千葉テレビ「ちば見聞録」にて放映
- ・館外観
全国消防協会 50周年記念事業 全国消防カードへの掲載
- ・「安政風聞集」写真
別冊宝島『絵図で読み解く 天災の日本史』への掲載
- ・関宿棒出しジオラマ 他3点
千葉テレビ「ちば見聞録」にて放映
- ・「火災地震番付」写真
(株)ナガセ発行『2016センター試験本番レベル模試 日本史B』への掲載
- ・「相馬の古内裏」 他1点
千葉県立中央博物館 平成27年度企画展「妖怪と出会う夏 in Chiba 2015」での展示及び、図録・ホームページ等への掲載
- ・「築田家文書」永禄10年4月18日築田八郎宛北条氏政起請文 写真
平成27年度栃木県立文書館古文書に親しむ会のレジュメへの掲載
- ・「築田家文書」天正18年7月16日
埼玉県立歴史と民俗の博物館 特別展「戦国図鑑－Cool Basara Style－」での展示及び、図録等への掲載
- ・中下流の護岸水制工事模型 写真 他1点
NHK・Eテレ『先人たちの底力 知恵泉』にて放映
- ・高瀬船復元模型
株式会社天夢人 「週刊 江戸三百藩」第3号への掲載
- ・「平親王将門と俵藤太秀郷」写真 他2点
BS-TBS番組「にっぽん！歴史鑑定」
#18平将門はなぜ殺されたのか？にて放映
- ・「関宿城と富士」写真
日本珠算連盟千葉県連合会発行「県珠連会報」への掲載
- ・築田家文書 「足利政氏書状」明応5年11月27日 他3点
『新編 図録 春日部の歴史』への掲載
- ・「平親王将門と俵藤太秀郷」写真
BS朝日「円楽の大江戸何でも番付」にて

放映

- ・「東京両国通運会社川蒸汽往復盛栄真景之図」写真 他 2 点
『久喜市栗橋町史 図説 利根川と生きる栗橋のあゆみ』への掲載
- ・「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡船橋之図」写真 他 1 点
草加市立歴史民俗資料館 企画展「日光道中（街道）と参勤交代」チラシ等への掲載
- ・「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡し船橋之図」
日光街道栗橋関所栗橋宿を元気にする会パンフレットへの掲載
- ・「香取参詣記」他 8 点
千葉県立美術館 特別展「香取神宮」での展示及び、図録・ホームページ等への掲載
- ・常設展示風景 他 5 点
ミツカン水の文化センターWeb サイト「第22 回里川文化塾 実施報告」への掲載
- ・「利根川ケレープ工事図」写真
東部地区文化財担当者会刊『東部地区の交通』への掲載
- ・「築田家文書」永禄 10 年 4 月 18 日築田持助宛・築田晴助宛北条氏政起請文 他 4 点
写真
月出剛著『戦国期地域権力と起請文』への掲載
- ・第三展示室「河岸ジオラマ」他 12 点
JR 東日本「トランヴェール」及び JR 東日本ホームページへの掲載
- ・天守閣からの眺望 他 3 点
ふれあい街あるき「今日は DOKO 行く！」にて放映
- ・「安政風聞集」1 点
NHK E テレ『先人たちの底力 知恵泉』（再放送を含む）にて放映
- ・「関宿城と富士」写真 他 1 点
野田市立せきやど図書館歴史講座「猿島茶と水運」ポスターへの掲載
- ・「明治 43 年 水害写真」写真 1 点
『市制 20 周年記念誌 年表吉川のあゆみー普及版ー』への掲載
- ・「エントランスホール・ジオラマ」（川船に荷を積み込む風景）写真 他 6 点

- 野田市立せきやど図書館歴史講座「猿島茶と水運」での展示
- ・第 1 展示室展示風景 他
朝日だより「ぬくぬく」への掲載
- ・「紺糸威胴丸具足」他 3 点
千葉県広報番組「ウィークリー千葉県 歴史を感じるまち 関宿」にて放映
- ・「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡船橋の図」写真
週刊「ビジュアル江戸三百藩」22 号への掲載
- ・築田家文書「浅野長吉書状」（天正十八年七月十六日）写真 1 点
行田市史普及版『行田の歴史』への掲載
- ・「下総国輿地全図」写真 1 点
(株)エンターバンク「さしま茶」パンフレットへの掲載
- ・「安政風聞集」写真 他 2 点
週刊「ビジュアル江戸三百藩」30 号への掲載
- ・エントランスホール・ジオラマ写真 1 点
図書館広報誌「さんかんだより」No69 への掲載
- ・「関宿藩士人名録」（塚本家）（コピー）1 点
松本松志
調査のための閲覧
- ・「関宿藩士人名録」（塚本家）（コピー）他 1 点
西村彰夫 他 1 名
家系図調査のため閲覧
- ・「刀（茨城県第 27831 号）」他 2 点
中村正己
点検のため閲覧
- ・「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡船橋之図」渡辺敏夫
資料調査のため閲覧
- ・絵はがき「市川より鴻之台遠望」他 2 点
安達健治
調査のための閲覧
- ・「小金原御用掛御役人附」ほか 8 点
高梨武夫
調査のための閲覧

V 資 料

1 条例・規則

教育機関設置条例

昭和 32.4.1 条例第 4 号
最終改正 平成 24.3.23 条例第 33 号

第 6 節 博物館

(目的)

第 19 条 博物館は、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うことを目的とする。

(名称及び位置)

第 20 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名 称 | 位 置 |
|-------------|-------|
| 千葉県立美術館 | 千葉市 |
| 千葉県立中央博物館 | 千葉市 |
| 千葉県立現代産業科学館 | 市川市 |
| 千葉県立関宿城博物館 | 野田市 |
| 千葉県立房総のむら | 印旛郡栄町 |

(分館)

第 20 条の 2 千葉県立中央博物館に分館を置く。

2 分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名 称 | 位 置 |
|------------------|---------|
| 千葉県立中央博物館大利根分館 | 香取市 |
| 千葉県立中央博物館大多喜城分館 | 夷隅郡大多喜町 |
| 千葉県立中央博物館分館海の博物館 | 勝浦市 |

(業務)

第 21 条 博物館は、博物館法第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行う。

(博物館協議会)

第 21 条の 2 博物館に博物館協議会を置く。

2 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、10 人以内とする。

4 第 2 項の委員の任期は 2 年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

5 第 3 項に定めるもののほか、博物館協議会の組

織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

教育機関組織規則 昭和 35.4.1 教育委員会規則第 3 号
最終改正 平成 20.3.31 教育委員会規則第 8 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号。以下、「条例」という。）第 1 条に規定する教育機関の組織、職制及び職員の職の設置等について定めることを目的とする。

第 5 節 博物館

(組織及び職制)

第 13 条 条例第 20 条に規定する博物館（千葉県立房総のむらを除く。以下「博物館」という。）に館長を置く。ただし、千葉県立美術館、千葉県立中央博物館及び千葉県立現代産業科学館には館長及び副館長を置く。

第 13 条 3 千葉県立関宿城博物館に次に掲げる課を置く。

庶務課

学芸課

2 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務課

(1) 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。

(2) 予算の経理、決算その他会計事務に関すること。

(3) 職員の給与、服務その他人事及び福利厚生に関すること。

(4) 他の博物館及び関係団体等との連絡に関すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、他の課に属さない事務。

学芸課

(1) 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 博物館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること。

(3) 博物館資料の鑑査、貸出し及び交換に関すること。

(4) 博物館資料に関する解説書、目録、研究報告等

の作成に関すること。

- (5) 特別展覧会、講習会、研究会等の開催及び広報普及に関すること。

博物館管理規則 昭和 45.12.25 教育委員会規則第 22 号
最終改正 平成 18. 3.30 教育委員会規則第 13 号

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号）第 20 条の規定する博物館（千葉県立房総のむらを除く。以下「館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 館の開館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分までとする。

2 館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 定期休館日 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
- (2) 年始休館日 1 月 1 日から 1 月 4 日まで
- (3) 年末休館日 12 月 28 日から 12 月 31 日まで
- (4) 臨時休館日 特別の事情により、館長が休館を必要と認めた日

2 前項の休館日であっても、館長が特に必要と認めた場合は、館の全部又は一部を開館することができる。

(入館の制限)

第 4 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 入館するときに入場料を払うべき者で、次条に規定する入場券を所持しない者
- (2) 適当な指導者、保護者又は付添人のない 6 才に満たない者
- (3) 泥酔者その他入館に迷惑を及ぼす行為をしておそれがあると認められる者

(入場券)

第 5 条 館の入場券は、別記第 1 号様式とする。

2 館の特別展覧会又は企画展覧会の開催期間内の入場券は、別記第 2 号様式とする。

3 館の団体（20 人以上の場合をいう。）入場券は、

別記第 3 号様式とする。

4 館の年間入場券は、別記第 4 号様式とする。

5 館の全館共通年間入場券は、別記第 5 号様式とする。

第 6 条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 展示品に手をふれること及び展示室でインク、墨汁類を使用すること。
- (2) 許可なくして展示品を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外の場所において喫煙又は飲食すること。
- (4) その他他の入館者の妨げになるような行為をすること。

(損害の賠償)

第 7 条 館長は、入館者が館の展示品、建物若しくは備品等をき損し、又は汚損したときは、現品又は相当の代価をもって弁償させることがある。

(委任)

第 8 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長の承認を得て、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和 46 年 1 月 15 日から施行する。
別記様式（省略）

博物館協議会運営規則

昭和 45.5.12 教育委員会規則第 9 号

平成 11.4.1 教育委員会規則第 7 号

最終改正 平成 18.3.30 教育委員会規則第 11 号

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号）第 21 条の 2 の規定により、博物館協議会の会議（以下「会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(議長及び副議長)

第 2 条 会議に議長及び副議長を置く。

- 2 議長及び副議長は、委員の互選によって定める。
- 3 議長及び副議長の任期は、2 年とする。ただし、再選されることができる。
- 4 議長は会議を主宰する。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故のあるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第 3 条 会議は議長が招集する。

- 2 議長は、会議開催の場所、日時及び会議に付議すべき案件を開会日の7日前までに通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。

2 平成27年度の主な事業と来館者

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 4月 1日 | 辞令交付式 39経和会（小山市） | 5月 27日 | 川越学舎（川越市） ボランティア とがしら （守谷市） |
| 4月 4日 | NPO都市農村推進交流センター（練馬区） | 5月 28日 | 野田市立北部小学校 野田市立北部小学校 茨城町歴史を語る会 |
| 4月 7日 | 川村学園女子大学 史学科 （我孫子市） ふれあいサロン南（取手市） | 6月 2日 | 上尾市ペタンク倶楽部 |
| 4月 9日 | 坂東市視覚障害者福祉協会 | 6月 3日 | デイサービスセンター ふれあい（春日部市） |
| 4月10日 | 柏市酒井根東親寿会 | 6月 5日 | すずのき保育園（坂東市） レモンの会（柏市） |
| 4月12日 | 第20回関宿城まつり 第8回関宿城さくらまつり | 6月 6日 | 幸手商業高等学校 3A会 関宿城大名行列保存会 |
| 4月15日 | 市民の会 | 6月 7日 | 古文書を読む（入門編）① 君津市文化協会 |
| 4月21日 | 2015年国際博物館の日記 念事業「昔のくらし展」 | 6月 9日 | 龍ヶ崎市西部地区民生委員児童 委員協議会 千葉退職教職員の会 |
| 4月22日 | 浅野さく泉管工株式会社 （野田市） | 6月12日 | 我孫子市新木地区まちづくり協 議会 |
| 4月23日 | 野田市立山崎小学校 野田市立清水台小学校 | 6月14日 | そば打ち [打ち方+ゆで方コー ス] ① |
| 4月24日 | 野田市立清水台小学校 春日部市立宝珠花小学校 | 6月16日 | 野田市立二ツ塚小学校 つばさ（野田市） |
| 4月25日 | 関宿城下を歩こう （1日コース）① わかたけ社会センター（柏市） | 6月20日 | 小麦まんじゅうづくり① |
| 4月26日 | 葵の会（さいたま市） | 6月21日 | 小麦まんじゅうづくり② |
| 4月28日 | 野田市立中央小学校 | 6月25日 | いきがい大学 38期 楽しも う会（幸手市） |
| 5月 1日 | 野田市立宮崎小学校 | 6月27日 | 利根川水運をたどる～関宿・野 田（新宿区） 全国博物館学講座協議会 松風会自治会（市川市） キッズセンター さくら （春日部市） |
| 5月 3日 | 生涯青春の会（習志野市） | 6月28日 | 街道歩こう会（野田市） |
| 5月 4日 | 第17回関宿城将棋大会 （大人の部） | 6月30日 | パネル展「日本の城郭と天守」 |
| 5月 5日 | 第17回関宿城将棋大会 （子どもの部） 神社を学び、夢を語らう集いの 会（中央区） | 7月 8日 | 迎米校友会（市川市） 61会・66会（武蔵野市） 綾瀬川上流治水促進連絡協議会 （伊奈町） |
| 5月13日 | デイサービスあいである柏西原 （柏市） | 7月11日 | ユーフォリア（戸田市） |
| 5月14日 | 野田市立福田第二小学校 | 7月12日 | 古文書を読む（入門編）② |
| 5月17日 | そば打ち [打ち方コース] ① | 7月14日 | 地域活動支援センター さくら （野田市） |
| 5月20日 | 野田市立東部小学校 | | |
| 5月22日 | 若菜会（結城市） 地域活動支援センター すまい る（野田市） | | |
| 5月23日 | 関宿城下を歩こう （半日コース）① | | |

| | | | |
|-------|--------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 7月15日 | 日本大学 生産工学部 (習志野市) | 9月19日 | 福生市松林分館利用者交流会 |
| 7月16日 | 日光東往還を歩く 第4回 (新宿区) | 9月25日 | 加須市立三俣小学校 野田市立福田第一小学校 |
| 7月17日 | 野田市川間公民館 | 9月26日 | 博物館セミナー② 八千代町郷土史クラブ |
| 7月18日 | キッズセンター さくら (春日部市) | 9月27日 | 投網漁と川魚料理 |
| 7月22日 | 笑話会 (鎌ヶ谷市) | 10月 2日 | 野田セントラルロータリークラブ (野田市) |
| 7月23日 | 史談会 (かすみがうら市) 佐倉市ユーカリが丘一丁目自治会 みずき会 | 10月 6日 | 企画展「海路から広がったやきもの—近世以降の関東—」 シニアユニバーシティ 北浦和校協議会 (さいたま市) |
| 7月26日 | 飛ばせ水ロケット サイクルショップ タジマ (桐生市) | 10月 7日 | 彩の国いきがい大学校友会 (深谷市) |
| 7月30日 | 遊学の会 (佐倉市) | | 脳トレ美浜会 (千葉市) |
| 8月 1日 | 河川敷のいきものさがし (1日コース) キッズセンター さくら (春日部市) | 10月10日 | 関宿城下を歩こう (1日コース) ② |
| 8月 4日 | 内谷自治協力会 (さいたま市) | 10月11日 | 古文書を読む (初級編) ② |
| 8月 7日 | 糸繰川治水期成同盟会 (下妻市) | 10月15日 | ヒューマンサポート春日部 デイサービス |
| 8月 8日 | 足立いところ会 (浦安市) | 10月16日 | 坂東市立弓馬田小学校 |
| 8月 9日 | 古文書を読む (入門編) ③ | 10月17日 | そば打ち [打ち方コース] ② |
| 8月12日 | NE Sげんこつ (越谷市) | 10月18日 | 海路から広がったやきもの 幸手市国際交流協会 滝台文化会 (船橋市) |
| 8月19日 | 千葉県教育研究会 東葛飾支会 社会科部会 | | 立正大学同窓会 千葉県支部 |
| 8月20日 | 宝国寺幼稚園 (さいたま市) | 10月20日 | 八千代台南自治会シニア (八千代市) |
| 8月21日 | 越谷市霞ヶ関公民館 さいたま市少年消防団 | 10月21日 | 全日本年金者組合 佐倉支部 |
| 8月27日 | 生涯自遊倶楽部 (松戸市) | 10月22日 | 船橋市小室公民館 鎌ヶ谷市東武八和会 |
| 8月28日 | 野田市木間ヶ瀬公民館 キッズセンター さくら (春日部市) | 10月24日 | 河川敷のいきものさがし (半日コース) |
| 8月30日 | 博物館セミナー① | 10月25日 | 歴史散歩 新白岡悠友会 (白岡市) |
| 9月 1日 | 啓心会 (野田市) キッズセンター さくら (春日部市) | 10月27日 | 春日部市立八木崎小学校 |
| 9月 2日 | 青田第一自治会 (流山市) 食生活推進課 水府支部 (常陸太田市) | 10月29日 | ヒューマンサポート春日部 デイサービス 香取市みずほふれあいセンター |
| | キッズセンター さくら (春日部市) | 10月30日 | 朗読グループ あいの会 (野田市) |
| 9月 6日 | 古文書を読む (初級編) ① | | 宝治戸池を考える会 (久喜市) |
| 9月17日 | 国府台地区社会福祉協議会 | 10月31日 | やきもの世界を知ろう |

| | | |
|----------|------------------------|-------------------------------------|
| | 一蹴ロクロ実演一① | (流山市) |
| 1 1月 1日 | 古文書を読む(初級編)③ | 江戸川を守る会 市川支部 |
| 1 1月 3日 | 企画展解説会① | 1 1月 26日 春日部市食生活改善推進員協議会 |
| 1 1月 4日 | ちばの昔を訪ねる会(千葉市) | 1 1月 27日 野田市観光協会 |
| 1 1月 5日 | 野田市役所 | 野田市東部公民館 |
| 1 1月 6日 | 越谷市コミュニティ推進協議会 | 1 1月 28日 関宿城下を歩こう |
| 1 1月 7日 | やきものの世界を知ろう | (半日コース)② |
| | 一模様つけ体験一① | 黒田産業協会(足立区) |
| | ミツカン水の文化センター | 放課後デイサービス ばくの会 |
| | (柏市) | (蓮田市) |
| 1 1月 9日 | こんにゃくづくり | 1 1月 29日 やきものの世界を知ろう |
| | 市原稲門会(市原市) | 一模様つけ体験一② |
| | 古河悠歩の会(古河市) | 1 2月 1日 大宮ハイキングクラブ |
| 1 1月 11日 | 前橋市歴史文化遺産活用委員会 | (さいたま市) |
| | 逆井町会 第二清掃工場対策委員会(柏市) | 市川市立宮田小学校 |
| 1 1月 12日 | 白樺三木会(我孫子市) | 1 2月 2日 筑西市社会福祉協議会 |
| | 野田市第5地区民生委員児童委員協議会 | 1 2月 4日 パネル展「『船鑑』に描かれた和船」 |
| | 遊歩の会(佐倉市) | 1 2月 8日 市川南自治会(市川市) |
| 1 1月 14日 | 市川南自治会(市川市) | 1 2月 9日 彩の国いきがい大学 春日部学園 |
| 1 1月 15日 | そば打ち[打ち方+ゆで方コース]② | 1 2月 12日 早稲田大学 |
| | 前橋市五代町自治会 | 1 2月 20日 博物館セミナー④ |
| 1 1月 18日 | 関宿地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会 | 富津市富津公民館 |
| | 谷塚文化センター コスモス | 1 2月 24日 子育てサークル ぴよっこくらぶOB会(松戸市) |
| | (草加市) | 1月 1日 関宿城で初日の出をみよう |
| | 古河デイサービスセンター | 1月 5日 館林市第三小学校家庭教育学級 |
| 1 1月 19日 | 春日部市食生活改善推進員協議会 | 1月 17日 博物館セミナー⑤ |
| 1 1月 21日 | やきものの世界を知ろう | 1月 20日 いきがい大学 熊谷学園37期史跡クラブ |
| | 一蹴ロクロ実演一② | 柏市立柏第三小学校 |
| 1 1月 22日 | 博物館セミナー③ | 1月 23日 小麦まんじゅうづくり③ |
| 1 1月 23日 | 企画展解説会② | 1月 24日 小麦まんじゅうづくり④ |
| | むらさき会(西東京市) | 1月 29日 流山市立東深井中学校 |
| | キッズセンター さくら | 2月 2日 本橋尚徳スケッチ小品展「関宿城風景」 |
| | (春日部市) | 2月 4日 印西市社会福祉協会大森・永治支部 |
| 1 1月 24日 | 筑西市文化協議会 下館支部 | 2月 11日 トレッキングクラブ にしきの会(宇都宮市) |
| | 松戸市明第三民生委員児童委員協議会 | 2月 17日 文化村あるこう会(春日部市) |
| 1 1月 25日 | 伊奈町衛生委員 | 2月 18日 芳賀町工業団地連絡協議会 |
| | 中山つ子くらぶ(川島町) | |
| | 千葉県生涯大学 東葛学園 | |

- 2月19日 いきいき一声会（柏市）
- 2月20日 上州歴史散策会（前橋市）
- 2月21日 **博物館セミナー⑥**
清水第五自治会（野田市）
- 2月25日 上平東部地域生活環境整備検討
委員会（上尾市）
流山市立博物館友の会
- 2月27日 **鷹菜漬け①**
- 2月28日 **鷹菜漬け②**
柏ひまわり会（野田市）
- 3月 1日 **コーナー展**
「醤油ラベルの大集合」
西東京市郷土文化会
- 3月 4日 草加宿案内人の会
- 3月 5日 **鷹菜漬け③**
久喜市ゆう・あい
- 3月 6日 **鷹菜漬け④**
- 3月12日 キッズセンター・さくら
（春日部市）
- 3月13日 **博物館セミナー⑦**
- 3月15日 佐野市植野高齢者はつらつセン
ター
府中市児童館事業連絡協議会
- 3月17日 柏市老人クラブ むつみ会
- 3月19日 **関宿城下を歩こう**
（1日コース）③
キッズセンター・さくら
（春日部市）
- 3月23日 **関宿藩すごろクイズ**
- 3月24日 さいたまシニア大学
（さいたま市）
- 3月25日 あさぎが丘 プラチナ会
（流山市）
- 3月26日 小美玉市玉里史料館
- 3月27日 ガールスカウト千葉県第70団
（松戸市）
- 3月29日 ゆうゆう会（船橋市）
- 3月30日 松戸市市民公座「地図を片手に
ぶらり旅」
123歩会（柏市）

千葉県立関宿城博物館年報（平成 27 年度）

平成 28 年 3 月 31 日発行

編集・発行

千葉県立関宿城博物館

〒270-02 千葉県野田市関宿三軒家 143-4

TEL 04-7196-1400

FAX 04-7196-3737
